

2019（令和元）年度

事業報告書



----- 目次 -----

I. 法人の概要

1. 建学の理念・教育理念	1
2. 沿革	2
3. 設置する学部・学科等	3
4. 入学定員と学生数の状況	4
5. 役員・教職員の概要	5

II. 事業の概要

1. 教育及び学生支援活動	8
2. 研究活動	12
3. 診療活動	13
4. 社会貢献・連携	14
5. 生涯学習	15
6. 国際交流	16
7. 広報活動	17
8. 経営管理	18
9. 施設設備	18
10. 情報の公開	19
11. 新中期計画	19
12. 基礎データ	20

III. 財務の概要

1. 経年比較	34
2. 2019年度決算の概要	37
3. 財産目録の概要	41
4. 財務比率の推移	42

学校法人 東日本学園

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

北海道医療大学

当別キャンパス

大学院薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科

リハビリテーション科学研究科

薬学部・歯学部・看護福祉学部・心理科学部

リハビリテーション科学部

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

札幌あいの里キャンパス

大学院心理科学研究科・心理科学部・医療技術学部

〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

I. 法人の概要

1. 建学の理念・教育理念

(1) 建学の理念

1974年本学の創設にあたり、大野精七初代学長は『「知育・徳育・体育」の三位一体による医療人としての全人格の完成』を建学の理念として提唱しました。

(2) 教育理念・教育目標

富田喜内第3代学長は、「生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献すること」を教育理念として定め、教育目標を次の通りとしました。

- ・幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
- ・自主性・創造性および協調性の確立
- ・確かな専門の知識および技術の修得
- ・地域社会ならびに国際社会への貢献

(3) 行動指針・目標

廣重力第4代学長は、『本学園に対する社会の要請と期待に応えるため、社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、常に組織としての自律性・透明性を高めながら、構成員一人ひとりが自主性・創造性を発揮することにより「学生中心の教育」並びに「患者中心の医療」を推進しつつ、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追求すること』を行動指針としました。また『「文理統合をベースにした個体差健康科学の構築—これによる個体差医療の実践」を目指す若者たち』を新医療人として定義し、「新医療人育成の北の拠点を目指して」を新たな行動目標としました。

2. 沿革

1974年 2月	学校法人東日本学園大学設立	2005年 4月	認定看護師研修センター設置
1974年 4月	薬学部(薬学科・衛生薬学科)開設	2005年 7月	大学病院、歯科内科クリニック、個性差医療科学センター開設
1978年 4月	歯学部(歯学科)開設	2006年 3月	薬学専攻科医療薬学専攻廃止
1978年 4月	大学院薬学研究科薬学専攻修士課程開設	2006年 4月	大学院心理科学研究科言語聴覚学専攻修士課程・博士課程開設
1978年12月	歯学部附属病院開設		
1982年 3月	アイソトープ研究センター設置		
1982年 4月	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程開設		
1984年 4月	歯学部附属歯科衛生士専門学校開設	2007年 4月	薬学部薬学科開設(6年制)
1985年 9月	教養部を当別町に移転・統合	2007年 4月	大学教育開発センター開設
1986年 4月	薬学専攻科医療薬学専攻開設	2008年 4月	看護福祉学部臨床福祉学科教職課程開設
1986年12月	佐々木記念館・総合図書館設置	2009年 1月	5大学共同サテライトキャンパス(札幌市中央区)開設(5大学:北海道医療大学・札幌医科大学・室蘭工業大学・小樽商科大学・千歳科学技術大学)
1988年 4月	大学院歯学研究科歯学専攻博士課程開設	2009年 8月	北方系伝統薬物研究センター設置
1988年12月	動物実験センター設置	2010年 4月	大学院薬学研究科生命薬科学専攻修士課程開設
1990年 4月	札幌医療福祉専門学校(看護学科・介護福祉学科)開設	2010年10月	薬剤師支援センター設置
1990年10月	医療科学センター医科歯科クリニック開設	2011年 3月	大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程廃止
1991年 4月	札幌医療福祉専門学校(言語聴覚療法学科)開設	2012年 3月	大学院薬学研究科薬学専攻修士課程廃止
1992年 4月	札幌医療福祉専門学校(言語聴覚療法専攻学科)開設	2012年 4月	大学院薬学研究科(薬学専攻)博士課程開設
1993年 4月	看護福祉学部(看護学科/医療福祉学科医療福祉専攻・臨床心理専攻)開設	2013年 3月	薬学部(総合薬学科)廃止(4年制)
1994年 4月	学校法人名称・大学名称変更 (学校法人東日本学園・北海道医療大学) 大学基準協会「維持会員校」として承認	2013年 4月	リハビリテーション科学部(理学療法学科/作業療法学科)開設
1994年 5月	医科学研究センター設置	2013年12月	大学院リハビリテーション科学研究科(リハビリテーション科学専攻)修士課程開設
1994年 6月	茨戸教育研修センター設置	2014年 3月	国際交流推進室(Global Networking Office)設置
1994年10月	20周年記念会館設置	2014年 3月	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程(後期3年の課程)廃止
1996年 4月	薬学部総合薬学科開設(学科改組) 大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設	2014年4月	歯科内科クリニック(内科)廃止
	保健管理センター開設	2014年4月	医療機関名称変更(北海道医療大学歯科クリニック)
1997年 4月	大学院看護福祉学研究科看護学専攻/臨床福祉・心理学専攻修士課程開設	2015年3月	地域連携推進室設置
1998年 6月	情報センター設置	2015年3月	NICEセンター廃止
1999年 4月	大学院看護福祉学研究科看護学専攻/臨床福祉・心理学専攻博士課程開設	2015年4月	リハビリテーション科学部(言語聴覚療法学科)開設
		2015年4月	大学院リハビリテーション科学研究科(リハビリテーション科学専攻)博士課程開設
2000年 4月	NICE(National and International Collaboration and Extension Center)センター設置	2015年12月	地域包括ケアセンター開設(札幌あいの里キャンパス)
2000年12月	学友会館設置	2016年4月	がん予防研究所開設
2001年 9月	札幌サテライトキャンパス(札幌市中央区)開設	2016年11月	保健管理センターを保健センターに名称変更
2002年 1月	個性差健康科学研究所設置(医科学研究センター廃止)	2017年4月	アドミッションセンター設置
2002年 4月	心理科学部(臨床心理学科/言語聴覚療法学科)開設 看護福祉学部医療福祉学科を臨床福祉学科へ名称変更		個性差健康科学研究所を健康科学研究所へ名称変更
2003年 6月	心理臨床・発達支援センター設置	2018年4月	個性差医療科学センターを予防医療科学センターへ名称変更
2004年 3月	札幌医療福祉専門学校閉校	2018年4月	国際交流推進室を国際交流推進センターへ名称変更
2004年 4月	大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程・博士課程開設	2019年3月	地域連携推進室を地域連携推進センターへ名称変更
	大学院心理科学研究科臨床心理学専攻修士課程・博士課程開設	2019年3月	IR推進センター設置
2004年 8月	歯の健康プラザ開設	2019年4月	大学院心理科学研究科(言語聴覚学専攻)修士課程・博士課程廃止
		2019年4月	医療技術学部(臨床検査学科)開設
		2020年3月	大学教育開発センターを全学教育推進センターに名称変更
			健康科学研究所廃止
			がん予防研究所廃止

3. 設置する学部・学科等

(1) 組織図



(2) 所在地

○当別キャンパス：〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757 番地

大学院薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科・リハビリテーション科学研究科／薬学部・歯学部・看護福祉学部・心理科学部・リハビリテーション科学部／歯科クリニック・歯科衛生士専門学校・総合図書館・認定看護師研修センター・薬剤師支援センター

○札幌あいの里キャンパス：〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里 2 条 5 丁目・6 丁目

大学院心理科学研究科／心理科学部／医療技術学部／大学病院・予防医療科学センター・心理臨床・発達支援センター・地域包括ケアセンター

○札幌サテライトキャンパス：〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 12 階

○石狩キャンパス：〒061-3245 石狩市生振 1246 番地

茨戸教育研修センター

4. 入学定員と学生数の状況

(1) 学部

(2019 年 5 月 1 日現在)

学部	学科	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	在籍学生数
薬学部	薬学科	160	165	9	5	999	1,008
歯学部	歯学科	80	83	-	2	480	438
看護福祉学部	看護学科／臨床福祉学科	180	156	18	6	756	655
心理科学部	臨床心理学科／言語聴覚療法学科	75	75	2	1	304	276
リハビリテーション科学部	理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚療法学科	180	204	20	3	770	823
医療技術学部	臨床検査学科	60	72	-	-	60	72
学部合計		735	755	49	17	3,369	3,272

(2) 大学院

(2019 年 5 月 1 日現在)

研究科・専攻・課程		入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数	
薬学研究科	薬学専攻	博士	3	4	12	15
	生命薬科学専攻	修士	3	-	6	-
歯学研究科	歯学専攻	博士	18	11	72	58
看護福祉学研究科	看護学専攻	修士	15	12	30	33
		博士	2	0	6	12
	臨床福祉学専攻	修士	5	3	10	5
		博士	2	1	6	5
心理科学研究科	臨床心理学専攻	修士	20	13	40	26
		博士	2	1	6	7
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	修士	5	7	10	10
		博士	2	2	6	7
大学院合計			77	54	204	178

(3) 専門学校

(2019年5月1日現在)

学校名	学科	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	在籍学生数
歯学部附属歯科衛生士専門学校	歯科衛生科	50	33	-	1	150	81

5. 役員・教職員の概要

(1) 役員・評議員

(2020年3月31日現在)

理 事				評 議 員			
寄附行為条項	条 文	規定数	現員	寄附行為条項	条 文	規定数	現員
第7条第1号	北海道医療大学学長	1人	1人	第21条第1号	法人の職員で評議員会選出	5人以上 13人以内	13人
第2号	評議員のうちから評議員会選任	4人以上 10人以内	5人	第2号	法人の設置する学校を卒業した25歳以上の者で理事会選任	5人以上 12人以内	11人
第3号	学識経験者のうちから理事会選任	2人以上 6人以内	5人	第3号	学識経験者のうちから理事会選任	5人以内 10人以内	8人
合 計		7人以上 17人以内	11人	合 計		15人以上 35人以内	32人

<理事長>

氏名	現職	就任/重任年月日
東郷重興	学校法人東日本学園理事長	2020年4月16日

<理事>

選任条項(第7条第1項)	氏名	現職	就任/重任年月日
第1号(1)	浅香正博	北海道医療大学学長	2018年4月1日
第2号(5)	三上章	サングループ代表取締役	2020年3月23日
	渡邊周志	ワタナベ歯科診療所院長	
	井口晴雄	東日本興産株式会社代表取締役社長	
	岸不盡彌	学校法人東日本学園専務理事	
蓑輪隆宏	医療法人社団白水会理事長		
第3号(5)	山田敏章	石井法律事務所弁護士	2019年3月23日
	和田啓爾	北海道医療大学副学長	
	東郷重興	学校法人東日本学園理事長	
	鈴木英二	学校法人東日本学園副理事長	
小野正道	学校法人東日本学園常務理事		

<監事>

選任条項(第8条第1項)	氏名	現職	就任(重任)年月日
	大萱生哲	おおがゆ法律事務所弁護士	2020年3月23日
	大川正勝	学校法人東日本学園常任監事	

<評議員>

選任条項(第21条第1項)	氏名	現職	就任/重任年月日
第1号(13)	齊藤 正人	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校長	2020年3月23日
	小林 道也	北海道医療大学薬学部長	
	青木 隆	北海道医療大学総合図書館長	
	齋藤 隆史	北海道医療大学歯科クリニック院長	2019年3月23日
	古市 保志	北海道医療大学歯学部長	2020年3月23日
	志水 幸	北海道医療大学看護福祉学部教授	
	富家 直明	北海道医療大学心理科学部長	
	泉 唯史	北海道医療大学リハビリテーション科学部長	
	花刈 馨也	北海道医療大学大学全学教育推進センター長	
	北市 伸義	北海道医療大学病院長	
	長原 利明	北海道医療大学事務局長	
	三國 久美	北海道医療大学看護福祉学教授	
	幸村 近	北海道医療大学医療技術学部長	2019年3月23日
第2号(11)	桂 正俊	北海道医療大学薬学部同窓会長	2020年3月23日
	佐藤 明理	医療法人明雄会そのまち歯科院長	
	村上 睦	株式会社オストジャパングループ代表取締役	
	松崎 弘明	医療法人弘志会理事長	
	田中 稔泰	北海道薬剤師会公衆衛生検査センター常務理事	
	蓑輪 隆宏	北海道医療大学歯学部同窓会長	
	川村 武昭	福慧会同窓会長 (北海道医療大学看護福祉学部看護学科同窓会)	
	小畑 友希	北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科同窓会長	
	上河邊 力	北海道医療大学心理科学部臨床心理学科同窓会長	
	大塚 紗弓	あいの里ST会(北海道医療大学言語聴覚療法学科同窓会) 理事・事務局長	
梶 美奈子	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会長		
第3号(9)	山田 敏章	石井法律事務所弁護士	2019年3月23日
	渡邊 周志	ワタナベ歯科診療所院長	
	三上 章	サングループ代表取締役	
	井口 晴雄	東日本興産株式会社代表取締役社長	
	岸 不盡彌	学校法人東日本学園専務理事	
	川上 智史	北海道医療大学予防医療科学センター長	
	小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部特任教授	
	和田 啓爾	学校法人東日本学園理事	
	小野 正道	学校法人東日本学園常務理事	

(2) 専任教員等

(2019年5月1日現在)

学部等	専任教員数							専任教員 1人当りの 学部在籍 学生数	備考	平均 年齢
	教授	准教授	講師	助教	助手	専任 教員	計			
学長	1						1	-		
副学長	1						1	-		
薬学部	薬学科	18	15	14	13	1	61	14.6		48.5
	(人間基礎科学)	4	3	2			9			
	計	22	18	16	13	1	70			
歯学部	歯学科	28	9	22	41	28	128	4.2	助手は 任期制	44.1
	(人間基礎科学)	1	1	2			4			
	計	29	10	24	41	28	132			
看護福祉学部	看護学科	10	7	11	18		46	9.4		48.4
	臨床福祉学科	5	3	5	4		17			
	(人間基礎科学)	4	2	1			7			
	計	19	12	17	22		70			
心理科学部	臨床心理学科	4	5	3	3		15	15.3		47.6
	(人間基礎科学)	1		1	1		3			
	計	6	5	4	4		18			
リハビリテーション 科学部	理学療法学科	7	1	4	7		19	15.8		47.4
	作業療法学科	4	2	3	2		11			
	言語聴覚療法学科	6	3	4	3		16			
	(人間基礎科学)	1	2	3			6			
	計	18	8	14	12		52			
医療技術学部	臨床検査学科	6		6	2		14	4.5		46.4
	(人間基礎科学)			2			2			
	計	6	0	8	2		16			
予防医療 科学センター	医学部門	7	1	5	1		14	-		51.6
	計	7	1	5	1		14			
健康科学研究所		1			1		2	-		43.5
がん予防研究所		1					1	-		
国際交流推進センター					1		1	-		
歯科衛生士専門学校						5	5	-		
認定看護師研修センター						2	2	-		
合計		111	54	88	97	29	7	385	-	

客員教員		49	
臨床助手	I種	病院	0
		クリニック	1
	II種	病院	61
		クリニック	18
	小計	80	
特別研究員		1	
研修歯科医	大学病院	13	
	歯科クリニック	9	
	小計	22	

事務職員・技術職員	
事務局長	1
法人	0
事務局	1
監査室	1
経営企画部	34
学務部	64
広報部	17
学術交流推進部	5
医療管理部	12
その他	12
合計	147

医療職員		
医療相談・地域連携室	大学病院	1
栄養相談室	大学病院	1
リハビリテーション室	大学病院	3
看護部	大学病院	46
	歯科クリニック	1
歯科衛生部	大学病院	28
	歯科クリニック	11
歯科技工部	大学病院	5
	歯科クリニック	3
放射線部	大学病院	3
	歯科クリニック	1
臨床検査部	大学病院	6
	歯科クリニック	1
医科部	大学病院	0
歯科部	大学病院	4
地域支援歯科医療科	歯科クリニック	2
合計		116

地域包括ケアセンター	
訪問看護ステーション	6
居宅介護支援事業所	2
在宅歯科診療所	3
合計	11

II. 事業の概要

少子化進行に伴う 18 歳人口の減少に反し、私立大学の設置数は年々増え続けており、学校法人の経営は一層厳しさを増しています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、学生生徒等納付金収入などの有限の財源のほかに、補助金や受託研究費等外部からの資金導入を積極的に図り、効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。

2019 年度における主な事業の概要について次のとおり報告します。

1. 教育及び学生支援活動

【大学院】

(1) 公認心理師の養成

大学院心理科学研究科・臨床心理学専攻では、2017（平成 29）年 9 月に施行された国家資格「公認心理師」制度発足に伴い、2019（令和元）年度から修士課程において関連実習を実施し、保健医療、教育、産業、福祉、司法の現場で必要とされる確かな実践能力を備えた人材養成に努めました。

(2) 地域包括ケアセンターを活用した大学院教育の充実・強化

大学院看護福祉学研究科では、地域包括ケアセンターを活用した臨地実習（在宅看護学、がん看護学、老年看護学、プライマリ・ケアの各分野）において、認知症ケアの知識や技術強化及びがん専門看護師・ナースプラクティショナー（NP）等の養成課程における臨床・研究に活用し、更なる教育・研究の充実に努めました。

(3) 専門看護師（CNS）の養成

大学院看護福祉学研究科では、専門分野として特定されている 13 分野のうち、在宅看護、老人看護、精神看護、慢性疾患看護、がん看護及び感染症看護の 6 分野を開設しており、2019（令和元）年度についても引き続き、その養成に努めました。

また、2019（令和元）年度は、CNS 養成課程における 38 単位への更新申請を行いました。

(4) 特定行為研修およびナースプラクティショナー（NP）の養成

大学院看護福祉学研究科では、2010（平成 22）年度から、5 年以上の実務経験を積んだ看護師を対象に、医師と協働して作成したプロトコル内で診断・治療が提供できるナースプラクティショナー（NP）の養成を行っており、引き続き、その養成に努めました。

また、特定行為 21 区分 38 行為のうち、13 区分 23 行為について指定研修機関の指定を受け、2019（令和元）年度についても引き続き、その養成に努めました。

(5) 奨学事業及び経済的支援の充実

将来、高度専門職業人もしくは教育・研究者として広く活躍する人材を育成するため、特に学業成績および人材に優れた大学院修士課程並びに博士課程入学者に対し、その経済的支援として「大学院奨学生」制度を実施しました。

(2019 年 5 月 1 日現在)

(人)

	薬学研究科	歯学研究科	看護福祉学研究科	心理科学研究科	リハビリテーション科学研究科	合計
修士課程	-	-	16	22	4	42
博士課程	8	26	4	3	4	45
合計	8	26	20	25	8	87

【学部】

(1) 高等教育の修学支援新制度の対象機関選定

支援が必要な低所得者世帯に対し、社会で自立し、活躍することができる人材を経済的に支援するため、2019（令和元）年 9 月に高等教育の修学支援新制度の対象機関に選定されました。

(2) 医療技術学部・臨床検査学科の設置

2019（令和元）年度 4 月から入学生を迎え、受験形態や入学前教育の受講の有無などから、正確な学力を把握し、リメディアル教育を活用することで、早い段階から基礎学力の充実に努めました。

(3) 大学教育開発センターの組織名称変更

2007（平成 19）年に設置した大学教育開発センターについて、活動内容を体現した「全学教育推進センター」に組織名称を変更し、本組織が取組む全学部横断的な見地に立った全学教育を推進し、学内外に向けて広く認知を促し、全学教育の強化・充実に努めました。

- (4) 社会人基礎力の充実・強化（ジェネリックスキルテストの活用）
ジェネリックスキルテストは、学生の社会人基礎力を測定し、大学教育における発達・育成過程を検証することにより、教育の質の改善や学生の学修支援等に資することなどを目的に2014（平成26）年度から実施しました。2019（令和元）年度からは、今後のIRデータとしての活用を踏まえて、全学年・学校の第1学年に加え、同3学年を対象として実施し、社会人基礎力の強化・充実に努めました。
- (5) リメディアル教育の充実・支援
第1学年における基礎学力の定着、高校時未履修科目の補充教育の充実、学習習慣の習得を目的としたリメディアル教育を支援し、学力の向上を図りました。
- (6) 多職種連携教育及び実習教育の充実・強化
地域包括ケアセンターを活用した地域医療・在宅ケア及び学部学科の枠を超えた多職種連携による実習教育の充実・強化に努めました。
- (7) 国家試験対策の充実・支援
- ①薬学部国家試験対策の実施
薬剤師国家試験の対策として、模擬試験及び解説講義を4月、10月、12月、2月に実施しました。また、国試対策講習会として、春期講習会（4月）、特別講習会（4月から6月の土・日）、夏期講習会（8月）、秋期講習会（9月から11月の土・日）を実施しました。また、直前講習会（1月から2月）を実施し、予備校と連携しながら合格率の向上を図りました。
- ②歯学部国家試験対策の実施
国家試験の出題基準に準拠した講義を行い、少人数学習により学習効果及び意欲の向上を図りました。また、第6学年の担任が学習面、精神面のケアを行っており、各試験実施後には必ず個別指導を行いました。さらに、各種試験結果の分析、分析結果に基づいた対策講義へのフィードバックを行い、国家試験合格へのサポートを行いました。合格率向上に向け業者模試及び特別講義を実施し、各試験実施後には低正答率問題を中心とした解説講義の充実に努めました。
- ③看護福祉学部国家試験対策の実施
看護学科では模擬試験を9回（看護師6回、保健師3回）実施しました。また、臨床福祉学科では、第3学年の2月に、前年に行われた国家試験を体験受験することから国試対策をスタートしました。国家試験対策である臨床福祉総合講義は、平成29年度から通年科目60時間として、時間数および内容の充実に努めました。模擬試験は、社会福祉士7回、精神保健福祉士2回、介護福祉士3回を実施し、社会福祉士は例年通り8月の夏期講座、11月の実践講座、12月の直前講座に加え、国試対策学生委員会主催による勉強会を昨年に引き続き8月に開催しました。精神保健福祉コースはコースセミナーを本年度も継続しました。
- ④心理科学部国家試験対策の実施
本年度後期開講の国試対策関連科目をリハビリテーション科学部言語聴覚療法学科と合同開講し、多くの講義数を確保することで、これまでの言語聴覚療法の基礎および専門分野の知識の定着を図る国家試験対策を実施しました。
- ⑤リハビリテーション科学部国家試験対策の実施
理学・作業療法学科では、7月に6日間の国家試験対策講義を実施しました。また、後期は国家試験対策を兼ねた総合講義を開講し、知識の定着を図りました。模擬試験は9月から5回実施し、弱点分析に努めました。国家試験過去問題の練習システムにより、スマートフォンで学習可能にする環境を整備しました。
言語聴覚療法学科では、教員による出題傾向の分析等を行なうとともに、後期には国家試験対策を兼ねた講義を開講し、言語聴覚士国家試験に向けた知識の定着を図りました。また、国家試験の出題基準に基づいたマークシート方式の試験（模擬試験2回・単位認定試験3回）を実施する他、国家試験過去問題や関連練習問題をスマートフォンで解くことができるシステム（リハドリル）により学習機会を増やし、合格率の向上を図りました。
- (8) IR (Institutional Research) 推進センターの推進
2018（平成30）年4月に「IR推進センター」を設置し、教育、研究その他の活動等に関する情報の収集、分析、活用を効果的かつ効率的に行うことにより、教育等の改善をはじめとして戦略的大学の運営の推進に努めました。
- (9) アドミッションセンターによる入試改革の推進
2017（平成29）年4月に設置した「アドミッションセンター」において、入試改革に取り組む体制の整備・強化及び入学選抜の円滑な実施を推進し、優秀かつ多様な人材の確保に努めまし

た。

(10) 「教育力向上・改善プログラム」の公募・選定に基づいた予算配付

本学で行われた教育の質的向上または改善する取組みを支援することにより、教育の改善・改革を進めることを目的に学長裁量予算を措置し、予算配付しました。

(2019年度採択4件 金額3,900千円)

(11) 就職・キャリア支援

①薬学生セミナー（学内就職相談会）

2019（令和元）年5月に薬学部を対象に道内外の病院、薬局、製薬企業、行政機関等、174団体の参加を得て開催しました。

②就活セミナーの開催

2019（令和元）年7月に歯学部附属歯科衛生士専門学校を対象に、道内の歯科医院18団体の参加を得て開催しました。

③福祉キャリアフェスタの開催（就職相談会）

2019（令和元）年7月に看護福祉学部臨床福祉学科及び心理科学部臨床心理学科を対象に、道内外の施設、社会福祉協議会、病院、行政機関等、83団体の参加を得て開催しました。

(12) 奨学事業及び経済的支援の充実

①「薬学教育・研究者育成奨学生」制度の実施

本学薬学部を卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する人物・学業成績ともに優れた学生に対し、国公立大学の学納金の差額相当分を減免する「薬学教育・研究者育成奨学生」制度を
実行しました。

(2019年度実績：在學生1名、合計1名)

②「薬学部特待奨学生」制度の実施

将来活躍が期待される人間性豊かな薬剤師を育成するため、学業成績および人物に優れた薬学部入学者に対し、国公立大学の学納金の差額相当分を減免する「薬学部特待奨学生」制度を実施しました。

(2019年度実績：新入生2名、在學生6名、合計8名)

③「歯学部特待奨学生」制度の実施

将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持ち、人物・学業成績ともに優れた歯学部入学者に対し、その経済的支援策として、在学中の6年間の学納金を国公立大学の水準以下とする「歯学部特待奨学生」制度を実施しました。

(2019年度実績：新入生1名、在學生33名、合計34名)

④「歯学部教育充実費」減免の実施

本学歯学部卒業生の子女に対し、歯学部教育充実費の減免を実施しました。

(2019年度実績：在學生2名、合計2名)

⑤「福祉・介護人材育成奨学生」制度の実施

人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、人物・学業成績ともに優れた臨床福祉学科入学者に対し学納金を4年間で390万円減免する「福祉・介護人材育成奨学金」を実施しました。

(2019年度実績：新入生14名、在學生31名、合計45名)

【歯科衛生士専門学校】

(1) 奨学事業及び経済的支援

歯学部附属歯科衛生士専門学校生の入学金減免の実施

A0、推薦入学者に対する入学金減免制度(半額免除)を実施しました。

(2019年度実績：新入生18名)

【全学共通】

(1) 奨学事業及び経済的支援

① 「夢つなぎ入試」の実施

経済的理由により進学が困難な状況にある受験生を対象とした「夢つなぎ入試」を実施しました。

(2019年5月1日現在)

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部	衛生士専門学校	合計
新入生	6	5	2	1	3	1	1	19
在学生	17	4	5	2	9	-	1	38
合計	23	9	7	3	12	1	2	57

② 入学奨励金支給制度の実施

本学卒業生の子女や兄弟姉妹で二人目以上の入学者を対象とする「入学者奨励金」制度(入学金相当額)に加え、本学を卒業又は退学ののち、改めて本学他学科に入学した場合、入学金相当額の奨励金を支給する制度を実施しました。

(2019年5月1日現在)

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部	大学院	衛生士専門学校	合計
入学奨励金	15	10	8	3	5	2	-	1	44

③ 東日本学園奨学金制度の実施

成績優秀、心身健全で、経済的理由により奨学金の貸与が必要と認められた学生を対象とした「一般奨学生」、父母等学費支弁者が災害、事故等により学費の支弁が著しく困難となった学生で、成績優秀、心身健全である学生に貸与される「災害・事故等奨学生」など、本学独自の奨学制度を実施し、学生の経済的支援に努めました。

<一般奨学生> (2019年5月1日現在)

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部	大学院	衛生士専門学校	合計
人数	40	25	23	16	25	1	9	1	140

2. 研究活動

(1) 文部科学省「研究拠点形成費等補助金（先進的医療イノベーション人材養成事業）」事業の推進

2017(平成 29)年度文部科学省「研究拠点形成費等補助金（先進的医療イノベーション人材養成事業）」に採択された「人と医を紡ぐ北海道がん医療人養成プラン」について、事業計画に基づき推進しました。

本事業は、前身である「がんプロフェッショナル養成プラン」（第 1 期）、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」（第 2 期）から引き続き、今期（第 3 期）も札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学の 4 大学共同により事業を推進しました。

・事業期間：2017（平成 29）～2021（平成 33）年度

<補助金申請額>

(単位：千円)

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	計
補助金申請額	16,523 (131,900)	12,881 (101,818)	12,881 (101,818)	8,587 (67,878)	4,293 (33,939)	55,165 (437,353)

* () 共同取組大学分を含む補助金申請額

(2) 外部資金の導入

科学研究費など競争的研究資金へより積極的に申請を行うとともに、寄付金や受託研究など外部資金の導入を図っています。なお、2019(令和元)年度科学研究費への申請を 11 月に行いました。

<2019 年度科学研究費採択件数等実績(2020. 3. 31 現在)>

(単位：千円)

新規			継続		合計	
申請件数	採択件数	金額	採択件数	金額	採択件数	金額
162	44	75,010	59	85,790	103	160,800

(3) 重点配分研究費

研究費基礎配付額の 30%削減を原資に、重点配分研究費として 1,000 万円を措置し、競争原理の導入を図り 214 件配分しました。

(4) 長岡技術科学大学との研究交流の推進

国立大学法人長岡技術科学大学と研究交流に関する協定締結に基づき、長岡技術科学大学が採択した文部科学省地域産学官連携科学技術振興事業費補助金「大学発新産業創出拠点プロジェクト（通称：START 事業）」について、医療系総合大学としての本学の特徴を生かし、当該プロジェクトを構成する研究の一部に参画しました。

(5) 先端研究推進センター設置について

本学の附属研究施設である健康科学研究所およびがん予防研究所は、本学の研究活動を支える役割を担ってきました。将来的に本学の研究活動の更なる活性化を図るには、本学の総合力を生かし、大学を挙げて取り組むことができる体制の整備と研究課題の設定、研究費の確保と効果の高い配分などが必要です。

本学の構成員が一体感を持ち、本学の総合力を生かした研究課題を創出し、大型研究助成金を獲得できるような体制を築くために、健康科学研究所とがん予防研究所を 3 月 31 日付で廃止し、両研究所が備える機能を包含し全学が一体となって本学を代表する研究を生み出す組織として、先端研究推進センターを設置しました。

3. 診療活動

(1) 医療機関収入状況

両医療機関における延患者数と医療収入の実績等は次のとおりです。大学病院では延患者数 3,095 名減、医療収入 112,829 千円増と、前年度実績を患者数は下回ったものの、医療収入は上回りました。歯科クリニックは延患者数 1,513 名減、医療収入は 8,280 千円減といずれも前年度実績を下回りました。また、大学病院の病床(24 床)稼働率は 37.8% (2018 年度: 41.9%) でした。

<実績と予算・前年度対比>

(収入単位: 千円)

		予算		実績		予算対比		前年度対比	
		延患者数	医療収入	延患者数	医療収入	延患者数	医療収入	延患者数	医療収入
大学病院	外来(医科)	63,185	561,140	61,579	523,204	△1,606	△37,936	△142	105,710
	(歯科)	62,568	355,191	60,340	351,822	△2,228	△3,369	△2,551	576
	入院(医科)	2,964	137,535	1,771	106,469	△1,193	△31,066	△444	△7,068
	(歯科)	1,500	104,082	1,537	104,122	37	40	89	16,124
	その他	2,448	25,819	2,673	20,134	225	△5,685	△47	△2,513
	計	132,665	1,183,767	127,900	1,105,751	△4,765	△78,016	△3,095	112,829
歯科クリニック	歯科	26,007	158,314	22,743	142,944	△3,264	△15,370	△1,673	△10,293
	訪問	2,596	21,017	2,284	20,374	△312	△643	160	2,204
	その他	-	806	-	399	-	△407	-	△191
	計	28,603	180,137	25,027	163,717	△3,576	△16,420	△1,513	△8,280
	合計	165,130	1,363,904	152,927	1,269,468	△8,341	△94,436	△4,608	104,549

※その他: 人間ドック、特定検診、予防接種他

(2) 訪問看護・居宅介護収入の状況

地域包括ケアセンターにおける延利用者数と訪問看護・居宅介護収入実績は以下のとおりです。訪問看護では利用者数 74 名増、訪問看護収入 18,841 千円増、居宅介護では利用者数 91 名増、居宅介護収入 862 千円増といずれも前年度実績を上回りました。

<実績と予算・前年度対比>

(単位: 千円)

	予算		実績		予算対比		前年度対比	
	延利用者数	収入	延利用者数	収入	延利用者数	収入	延利用者数	収入
訪問看護	1,130	54,084	733	42,378	△397	△11,706	74	18,841
居宅介護	840	9,808	955	9,945	115	137	91	862
合計	1,970	63,892	1,688	52,323	△282	△11,569	165	19,703

(3) 研修歯科医受入れ状況

歯科医師臨床研修制度に基づく、研修歯科医の受入れ状況は以下のとおりです。

医療機関名	定員	受入人数	充足率	備考
大学病院	46	13	28.3%	本学出身者 13 名
歯科クリニック	14	9	64.3%	本学出身者 9 名
合計	60	22	36.7%	

また、2020 年度歯科医師臨床研修医の採用状況は以下のとおりです。

医療機関名	プログラム	定員	出願者	マッチ者	採用者
大学病院	A (12 カ月管理型)	20	78	20	10
	B (8 カ月協力型 + 4 カ月管理型)	12	78	8	3
	C (4 カ月協力型 + 8 カ月管理型)	14	78	2	0
歯科クリニック	A (12 カ月管理型)	10	78	8	*1, 2 9
	B (8 カ月協力型 + 4 カ月管理型)	2	78	2	*2 1
	C (4 カ月協力型 + 8 カ月管理型)	2	78	2	2
合計		60		42	25

*マッチ者数および採用者数は実数

*1 歯科クリニック A プロ: 1 名 再開(研修期間 5/7~3/30 まで)

*2 歯科クリニック B プロ→A プロ: 1 名 (6/1 付)

4. 社会貢献・連携

(1) 日本体育大学・当別町・北海道銀行との連携協定の推進

2018（平成 30）年 11 月に締結した日本体育大学・当別町・北海道銀行との連携協定に基づき、体育・スポーツ及び健康づくりの分野において、相互に連携・協力すること、また、それぞれの有する資源を有効かつ適切に活用、一層の発展とさらなる社会貢献を実現するための連携に努めました。

(2) 地域連携

2015（平成 27）年 4 月に改組した「地域連携推進センター」において、社会に開かれた大学として地域社会へ貢献するとともに、教育研究活動の活性化に努めました。

(3) 当別町・滝川市との包括連携協定の推進

2013（平成 25）年に締結した当別町及び滝川市との包括連携協定に基づき、本学が有する知的財産、教育研究機能を活用し、保健・医療・福祉をはじめとする幅広い分野において、連携推進協議会及び意見交換会を実施し、当該事業について推進しました。

(4) 地域交流

地域包括ケアセンターにおいて、地域住民の交流の場作り事業として地域交流サロンの開放、地域住民のための健康づくり支援事業として健康相談の実施及び認知症患者及び家族の支援事業として、認知症サポーター養成、啓発講習会、はつらつ教室認知症カフェ等の事業を展開しました。

<2019年度講座開催結果>

(2020年3月31日現在)

	講座名	講座回数	受講者数
1	リハビリテーション専門職による訪問看護スタートアップ研修	3回	67名
2	子育て家族のためのホームケア 他	2回	37名
3	小学生と保護者向けの認知症サポーター養成講座	1回	27名
4	ずっと健康でいてほしい!「はつらつ教室」 他	3回	107名
5	地域包括ケア入門「ソーシャルワーク実習に係る事前教育」	1回	5名
合計		10回	243名

(5) 北海道「介護従事者確保総合推進事業（介護のしごと魅力アップ事業）」採択事業の推進

高校生、高校生の父母、高校教員のほか広く一般市民も対象に、福祉・介護の仕事のイメージアップと理解の促進を図り、より多くの学生が、次世代の福祉を担う人材を目指すための意識啓発等を目的として、社会福祉法人ゆうゆうとの連携により当該事業を推進しました。

(6) 高大連携

2005(平成 17)年度より札幌市内の高等学校と高大連携協定を結び、本学教員が高等学校に直接出向いて行う「模擬（出張）講義」、高校生等が本学に来て受講する「体験授業又は職業体験(インターシップ)、学校見学会」など、職業観や進路意識の醸成を目的とした体験学習を中心に実施しました。

<高大連携事業>

		2017年度	2018年度	2019年度	備考
模擬講義	実施校	64	54	52	
	講義数	86	73	56	
体験学習・インターシップ 他		16	18	49	

5. 生涯学習

(1) 薬剤師支援センターにおける薬剤師研修の実施

医療現場において、薬剤師が期待される職務を果たすためには、生涯にわたって継続した自己学習・研修が求められています。これら生涯研修を自己責任のもとで行い、常にスキルアップを図る薬剤師を対象として認定薬剤師が制度化されています。2011(平成 23)年度に本学認定制度事業(本学薬剤師支援センター)が薬剤師認定制度認証機構より認定され9年目となりました。当該支援センターにおいて、引き続き、認定薬剤師研修制度に関する事業を中心として、医療現場との共同研究の推進及び連携事業を実施しています。

(2) 認定看護師(CN)の養成

認定看護師は、「日本看護協会が実施する認定看護師認定審査に合格し、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者」と定義づけられています。本学では、認定看護師研修センターにおいて、現在、感染管理、認知症看護分野の2分野を開設し、その養成に努めました。

(3) 公開講座

設定テーマに沿った開講や内容の充実等、一般向、卒業生・職能人向ともに本学の特色を生かした講座を継続的に実施しました。

<2019年度公開講座開催結果>

	講座名	講座回数	受講者数
1	医療×地域×健康講座	6回	328名
2	薬草園を見る会	1回	71名
3	漢方・薬用植物研究講座	7回	596名
4	地域連携セミナー	2回	29名
5	ちょっと役立つ看護の知恵	6回	160名
6	当事者研究セミナー	2回	118名
7	発達障がいセミナー	2回	21名
8	しごと体験メディカル・キッズ	2回	50名
9	当別町ー北海道医療大学 連携講座	6回	132名
10	心理・臨床発達支援センター 共催講座	2回	38名
11	北海道医療大学病院 共催講座	1回	8名
12	地域包括ケアセンター 共催講座	8回	187名
13	医療薬学セミナー	10回	221名
14	歯科臨床セミナー	6回	135名
15	看護福祉学部同窓会セミナー	2回	66名
16	臨床心理学科同窓会セミナー	2回	46名
17	言語聴覚療法学科同窓会セミナー	1回	26名
18	歯科衛生士専門学校同窓会セミナー	1回	94名
	合計	67回	2,326名

(4) 市民医療セミナー

2016(平成 28)年 4 月に北洋銀行と締結した包括連携協定に基づき、市民の健康増進並びに地域医療への貢献に資することを目的として、「市民医療セミナー」を開催しました。

<2019年度市民セミナー開催結果>

	テーマ	受講者数
1	悪玉コレステロールと動脈硬化・認知症	120名
2	健康になれる生活習慣とは?	100名
	合計	220名

6. 国際交流

(1) 台湾事務所の開設

2019（令和元）年度に大学広報、学生募集、派遣学生及び入学希望者等の対応を目的とした台湾事務所を開設し、国際交流事業の拡大を図りました。

(2) 国際交流

2015（平成27）年4月に改組した「国際交流推進センター」において、海外の教育機関との学術交流、学生交流、その他の国際交流事業の活性化に努めました。

(3) 大学・学部間交流

本学では、現在、大学間4大学（アルバータ大学・台北医学大学・中南大学・極東国立総合医科大学）、学部間20大学（同済大学・ニューヨーク州立大学バッファロー校・インドネシア大学・ストラズブル大学・中山大學・マヒドン大学・イエテボリ大学・ブリテイッシュコロンビア大学・国立ルブリン医科大学・モンゴル国立医科大学・シティ歯科大学・タフツ大学・チュラロンコン大学・崇実大学・カトマンズ大学・キョンヒ大学・中国医薬大学附属病院生体医療工学技術研究センター・SEGi 大学・マラ工科大学・韓国カトリック大学）、1医療機関（ユング-シュテリング病院）と連携協定を締結し、教育及び学術における国際交流の推進に努めました。

2019（令和元）年度については、薬学部、歯学部、看護福祉学部、歯科衛生士専門学校において6～9月の間にチュラロンコン大学（歯学部4名）、中山大學（歯学部6名）、台北医学大学（薬学部1名、看護福祉学部2名）、極東国立総合医科大学（歯学部14名）、慶熙大学（歯学部4名）、イエテボリ大学（歯学部4名、歯科衛生専門学校2名）、中南大学（健康科学研究所3名）の計40名を受け入れ、授業をはじめ見学実習を実施しました。また2019（令和元）年8月には同済大学（歯学部1名）が研修に参加しました。

(4) 極東国立総合医科大学と合同医療シンポジウム開催

7月1日に極東国立総合医科大学から1名、医療従事者職能向上研修機関から3名の研究者を招へいし、本学にて合同シンポジウムを開催し、両大学間の研究者の間で意見交換を行いました。

7. 広報活動

募集広報として新聞や進学雑誌などでの広告掲載、ターゲット地域を絞って交通広告を掲出している。ホームページの機能面の拡充、メールマガジン発行やLINEによる情報発信など電子媒体の活用も実施しました。

また、オープンキャンパスを年4回(レギュラー4回)開催しましたが、3月に予定していたキャンパス見学会については、今年度は中止といたしました。

＜オープンキャンパス参加者数＞ (人)

		2017年度	2018年度	2019年度	備考
大学	生徒	1,606	1,706	1,722	
	保護者	1,085	1,148	1,036	
専門学校	生徒	67	55	63	
	保護者	32	20	37	
合計		2,790	2,929	2,858	

＜志願状況＞

(1) 大学 (人)

学部	学科	募集人員	2019年度	2020年度	前年比	備考
薬学部	薬学科	160	727	665	91.5	
歯学部	歯学科	80	436	445	102.1	
看護福祉学部	看護学科	100	993	987	99.4	
	臨床福祉学科	80	326	308	94.5	
心理科学部	臨床心理学科	75	473	388	82.0	
リハビリテーション科学部	理学療法学科	80	583	500	85.8	
	作業療法学科	40	535	512	95.7	
	言語聴覚療法学科	60	389	358	92.0	
医療技術学部	臨床検査学科	60	207	379	183.1	
大学計		675	4,669	4,542	97.3	

(2) 大学／編入学 (人)

学部	学科	募集人員	2019年度	2020年度	前年比	備考
薬学部	薬学科(2・3年次)	9	8	4	50.0	
歯学部	歯学科	-	7	7	100.0	
看護福祉学部	看護学科	9	2	1	50.0	
	臨床福祉学科	9	4	5	125.0	
心理科学部	臨床心理学科	2	1	0	-	
リハビリテーション科学部	理学療法学科	5	2	1	50.0	
	作業療法学科	5	2	1	50.0	
	言語聴覚療法学科	10	0	5	-	
大学計		49	26	24	92.3	

(3) 大学院 (人)

研究科	専攻	課程	募集人員	2019年度	2020年度	前年比	備考
薬学研究科	薬学専攻	博士	3	4	3	75.0	
	生命薬科学専攻	修士	3	0	0	-	
歯学研究科	歯学専攻	博士	18	13	11	84.6	
看護福祉学研究科	看護学専攻	修士	15	16	15	93.8	
		博士	2	0	2	200.0	
	臨床福祉学専攻	修士	5	3	3	100.0	
		博士	2	1	0	-	
心理科学研究科	臨床心理学専攻	修士	20	17	22	129.4	
		博士	2	2	1	50.0	

リハビリテーション科学 研究科	リハビリテーション科学 専攻	修士	5	7	8	128.5	
		博士	2	2	2	100.0	
大学院 計			77	65	67	103.1	

(4) 専門学校 (人)

学校名	募集人員	2019年度	2020年度	前年比	備考
歯学部附属歯科衛生士専門学校	50	21	29	138.1	

(5) 専門学校／編入学 (人)

学校名	募集人員	2019年度	2020年度	前年比	備考
歯学部附属歯科衛生士専門学校	-	1	0	0	

8. 経営管理

(1) 高等教育の修学支援新制度対象機関の選定

2019（令和元）年9月に申請していた高等教育の修学支援新制度の対象機関に選定されました。2020（令和2）年度入学生より授業料及び入学金の減免を行います。また、初年度については、2019（令和元）年11月より在学生の予約申請の受付を開始しました。

(2) 消費税引き上げ対応について

2019（令和元）年10月1日より消費税が8%から10%に引き上げられることに伴い、事業や物品の購入を前倒しで実施することで、消費増税分を抑制するよう教職員に周知し、対応いたしました。

(3) 人件費抑制

本学の収支状況は基本金組入前当年度収支差額が支出超過の状態が続いております。本学が安定的・継続的に運営していくためには、支出超過状態の早期解消が急務であり、その一方策として事業活動収入の約60%を占める人件費について令和元年度人事院勧告に基づく給与改定を見送りました。

(4) 予算の効率的運用・削減

各部局に配布された予算の執行にあたって、事業計画に優先順位を付し、効率的な執行・削減に努めました。

(5) 学園整備計画に基づく借入金

2015（平成27）年1月、本学園の将来構想の実行計画の具体化に取り組むべき資金調達を実施し、2015（平成27）年6月より年2回（6、12月）計画的に返済をしています。

9. 施設設備

(1) 医療技術学部・臨床検査学科の設置に伴い、医療技術学部棟の第2期改修工事を実施しました。

（金額108,918千円）また、設置計画に基づき、機器・備品を整備し、教育及び教育環境を整備しました。（金額89,569千円）

(2) 総合図書館の外壁改修工事の第2期として、南面、西面の工事を実施しました。

（金額52,380千円）

(3) 大学病院で使用している歯科頭部用X線CT装置が老朽化しているため更新し、診療環境の整備を図りました。（金額27,432千円）

(4) 地域包括ケアセンターでナースプラクティショナー（NP）の実践モデルを行うため、携帯型超音波診断器を購入し、教育環境の整備を図りました。（金額6,372千円）

10. 情報の公開

学園が公共性や社会的説明責任を果たし、公正かつ透明性の高い運営を実現し、構成員による自立的な運営と教育研究の質的向上を目的として、情報公開規程に基づき、日本私立学校・共済事業団主催の「大学ポートレート（私学版）」に掲載するなど、積極的な情報公開に努めました。

11. 新中期計画

創立50周年を含め将来を見据えた本学園の「新中期計画」の検討を進めております。私立学校法の改正による義務化に伴い、計画は「教学」のみならず「経営」に関する項目を含んだものとし、年度内に策定しました。

①教育の充実

- ・ポリシーに基づく教育の質向上
- ・学生の主体的学修及び能動的学修の推進
- ・入学前教育の充実
- ・国家試験合格率の維持向上
- ・多職種連携教育の充実
- ・初年次教育の充実
- ・休退学への対応
- ・キャリア、就職支援の充実

②大学院の充実

- ・ポリシーに基づく教育の質向上
- ・社会人の学び直しの推進

③研究の推進

- ・教育の質向上
- ・外部資金の獲得
- ・研究活動の活性化
- ・研究成果の発信強化

④グローバル化の推進

- ・海外大学等との連携
- ・留学生受け入れの推進
- ・海外研修、留学プログラムの推進

⑤地域連携の推進

- ・地域との連携、協働事業の活性化
- ・地域の課題解決に向けた研究の推進
- ・他大学との連携
- ・人材の育成と教育の充実
- ・生涯学習講座の充実

⑥学生の受け入れ

- ・学生募集広報の強化
- ・多様な学生の受け入れ

⑦経営管理

(1) 財政基盤の確立

- ・学生生徒納付金収入の確保
- ・寄付金収入の増加
- ・人件費の抑制
- ・新たな収益事業の検討
- ・外部資金の獲得
- ・医療機関収支の改善
- ・経費の削減

(2) 運営体制の強化

- ・ガバナンスの強化
- ・既存学部、学科の改組、再編の検討
- ・教学マネジメントの確立

12. 基礎データ

(1) 入学試験結果

① 大学

学部／学科名	入試区分	2020年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学部 薬学科	一般AO方式	16	6	6	5	1.2	5
	特別枠AO方式		3	3	3	1.0	3
	一般推薦	17	6	6	6	1.0	6
	指定校特別推薦	29	49	49	49	1.0	45
	社会人特別選抜	若干名	0	-	-	-	-
	外国人特別選抜	若干名	1	1	1	1.0	0
	センター前期A	15	183	183	162	1.1	40
	センター前期B	10	51	51	49	1.0	3
	一般前期 1/30	65	182	178	203	1.5	41
	一般前期 1/31		127	120			
	センター後期	3	32	32	31	1.0	4
	センター後期B	若干名	2	2	2	1.0	0
一般後期	5	23	21	18	1.2	8	
薬学部計		160	665	652	529	1.2	155
歯学部 歯学科	一般AO方式	20	7	7	5	1.4	5
	特別枠AO方式		13	13	13	1.0	12
	一般推薦	8	3	3	3	1.0	3
	指定校特別推薦	8	3	3	3	1.0	3
	社会人特別選抜	若干名	-	-	-	-	-
	外国人特別選抜	若干名	12	12	10	1.2	6
	センター前期A	6	134	134	115	1.2	13
	センター前期B	4	43	43	37	1.2	5
	一般前期 1/30	25	77	74	82	1.6	15
	一般前期 1/31		63	57			
	センター後期	2	21	21	18	1.2	3
	センター後期B	若干名	1	1	1	1.0	0
	一般後期	4	20	18	13	1.4	4
一般後期B	3	48	46	39	1.2	9	
歯学部計		80	445	432	339	1.3	78
看護福祉学部 看護学科	一般AO方式	6	38	38	10	3.8	10
	一般推薦	16	28	28	23	1.2	23
	指定校特別推薦	16	26	26	26	1.0	26
	社会人特別選抜	若干名	1	1	1	1.0	1
	センター前期A	8	162	162	47	3.4	3
	センター前期B	6	90	90	25	3.6	2
	一般前期 1/30	40	306	295	122	4.6	45
	一般前期 1/31		273	265			
	センター後期	3	18	18	3	6.0	0
一般後期	5	45	43	10	4.3	8	
	学科計	100	987	966	267	3.6	118
看護福祉学部 臨床福祉学科	一般AO方式	15	3	3	3	1.0	2
	一般推薦	10	1	1	1	1.0	1
	指定校特別推薦	14	18	18	18	1.0	16
	社会人特別選抜	若干名	1	1	1	1.0	1
	センター前期A	6	59	59	54	1.1	4
	センター前期B	4	53	53	53	1.0	5

	一般前期 1/30	23	79	74	83	1.7	9
	一般前期 1/31		67	67			
	センター後期	3	14	14	14	1.0	4
	センター後期B	若干名	0	-	-	-	-
	一般後期	5	12	12	12	1.0	0
	一般後期B	若干名	1	1	1	1.0	0
	学科計	80	308	303	240	1.3	42
看護福祉学部計		180	1,295	1,269	507	2.5	160
心理科学部 臨床心理学科	一般AO方式	10	12	12	11	1.1	11
	一般推薦	10	3	3	3	1.0	3
	指定校特別推薦	10	18	18	18	1.0	18
	社会人特別選抜	若干名	0	-	-	-	-
	センター前期A	8	81	81	75	1.1	9
	センター前期B	6	64	64	62	1.0	12
	一般前期 1/30	24	87	83	94	1.6	13
	一般前期 1/31		71	70			
	センター後期	3	27	27	27	1.0	2
	センター後期B	若干名	2	2	2	1.0	1
	一般後期	4	21	17	16	1.1	0
	一般後期B	若干名	2	2	2	1.0	1
心理科学部計		75	388	379	310	1.2	70
リハビリテーション科学部 理学療法学科	一般AO方式	10	54	54	15	3.6	15
	一般推薦	10	25	25	10	2.5	10
	指定校特別推薦	10	18	18	18	1.0	18
	社会人特別選抜	若干名	0	0	-	-	-
	センター前期A	7	97	97	41	2.4	8
	センター前期B	6	64	64	31	2.1	6
	一般前期 1/30	30	116	114	77	2.7	27
	一般前期 1/31		99	96			
	センター後期	3	10	10	3	3.3	1
	一般後期	4	17	16	9	1.8	8
	学科計	80	500	494	204	2.4	93
	リハビリテーション科学部 作業療法学科	一般AO方式	5	8	8	8	1.0
一般推薦		5	5	5	5	1.0	5
指定校特別推薦		5	4	4	4	1.0	4
社会人特別選抜		若干名	0	-	-	-	-
センター前期A		4	120	120	58	2.1	9
センター前期B		3	59	59	30	2.0	5
一般前期 1/30		14	134	131	121	2.2	18
一般前期 1/31			137	135			
センター後期		2	19	19	3	6.3	0
一般後期		2	26	25	4	6.3	2
学科計		40	512	506	233	2.2	51
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科		一般AO方式	12	15	15	15	1.0
	一般推薦	5	3	3	3	1.0	3
	指定校特別推薦	10	23	23	23	1.0	23
	社会人特別選抜	若干名	0	0	-	-	-

	センター前期A	8	70	70	66	1.1	4
	センター前期B	6	53	53	51	1.0	5
	一般前期 1/30	14	81	79	95	1.7	8
	一般前期 1/31		81	81			
	センター後期	2	15	15	15	1.0	2
	一般後期	3	17	16	16	1.0	2
	学科計	60	358	355	284	1.3	62
リハビリテーション科学部計		180	1,370	1,355	721	1.9	206
医療技術学部 臨床検査学科	一般AO方式	12	41	41	12	3.4	12
	一般推薦	7	26	26	12	2.2	12
	指定校特別推薦	8	8	8	8	1.0	8
	社会人特別選抜	若干名	1	1	1	1.0	1
	センター前期A	6	74	74	16	4.6	9
	センター前期B	4	23	23	7	3.3	1
	一般前期 1/30	18	104	100	59	3.0	28
	一般前期 1/31		78	75			
	センター後期	2	10	10	2	5.0	0
一般後期	3	14	14	3	4.7	2	
医療技術学部計		60	379	372	120	3.1	73
全学部合計	一般AO方式	106	184	184	84	2.2	83
	特別枠AO方式		16	16	16	1.0	15
	一般推薦	88	100	100	66	1.5	66
	指定校特別推薦	110	167	167	167	1.0	161
	社会人特別選抜	若干名	3	3	3	1.0	3
	外国人特別選抜	若干名	13	13	11	1.2	6
	センター前期A	68	980	980	634	1.5	99
	センター前期B	49	500	500	345	1.4	44
	一般前期 1/30	253	1,166	1,128	936	2.2	204
	一般前期 1/31		996	966			
	センター後期	23	166	166	116	1.4	16
	センター後期B	若干名	5	5	5	3	1
	一般後期	35	195	182	101	1.8	34
	一般後期B	3	51	49	42	1.2	10
合 計		735	4,542	4,459	2,526	1.8	742

② 編入学

学部／学科名	入試区分		2020年度					
			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学部 薬学科	一期 2年次	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		1	1	1	1.0	1
	一期 3年次	社会人	3	0	0	-	-	-
		一般		0	0	-	-	-
	二期 2年次	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		2	1	1	1.0	0
	二期 3年次	社会人	2	0	-	-	-	-
一般		1		1	0	-	-	
薬学部計			9	4	3	2	1.5	1
歯学部 歯学科	一期	2年次	若干名	1	1	0	-	0
		3年次		1	1	0	-	0
	二期	2年次	若干名	2	2	2	1.0	2
		3年次		2	2	0	-	0
	特別	4年次	若干名	1	1	1	1.0	1
歯学部計			若干名	7	7	3	2.3	3
看護福祉学部 看護学科	一期	社会人	6	1	1	1	1.0	1
		一般		0	-	-	-	-
	二期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
学科計			9	1	1	1	1.0	1
看護福祉学部 臨床福祉学科	一期	社会人	6	0	-	-	-	-
		一般		1	1	1	1.0	1
		指定校		1	1	1	1.0	1
	二期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		2	2	2	1.0	2
		指定校		1	1	1	1.0	1
	学科計			9	5	5	5	1.0
看護福祉学部計			18	6	6	6	1.0	6
心理科学部 臨床心理学科	一期	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
	二期	社会人	若干名	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
心理科学部計			2	0	-	-	-	-
リハビリテーション科学部 理学療法学科	一期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		1	1	0	-	0
	二期	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
学科計			5	1	1	0	0	0
リハビリテーション科学部 作業療法学科	一期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		1	1	0	-	0
	二期	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
学科計			5	1	1	0	0	0
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	一期	社会人	7	2	2	2	-	2
		一般		2	2	1	-	1
	二期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		1	1	1	1.0	1

	学科計	10	5	5	4	1.3	4
	リハビリテーション科学部計	20	7	7	4	1.8	4
	大学合計	49	24	23	15	1.5	14

③ 専門学校

学校/学科名	入試区分	2020年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
歯科衛生士専門学校 歯科衛生科	AO方式	30	23	23	23	1.0	23
	一般推薦	5	0	-	-	-	-
	指定校特別推薦	8	5	5	5	1.0	5
	一般前期A	2	0	-	-	-	-
	一般前期B	3	0	-	-	-	-
	一般後期	2	1	1	1	1.0	0
	合計	50	29	29	29	1.0	28

④ 専門学校（編入学）

学校/学科名	入試区分	2020年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
歯科衛生士専門学校 歯科衛生科	2年次	若干名	0	-	-	-	-
	合計		0	0	0	0	0

⑤ 大学院

研究科	専攻	課程	入試区分	2020年度					
				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学研究科	薬学専攻	博士	一般	3	3	3	3	1.0	3
			社会人		0	-	-	-	-
	博士課程計			3	3	3	3	1.0	3
	生命薬科学専攻	修士	一般	3	0	-	-	-	-
			社会人		0	-	-	-	-
修士課程計			3	0	0	0	0	0	
薬学研究科合計			6	3	3	3	1.0	3	
歯学研究科	歯学専攻	博士	一般	18	11	11	10	1.1	10
			社会人		0	-	-	-	-
歯学研究科合計			18	11	11	10	1.1	10	
看護福祉学研究科	看護学専攻	博士	一般	2	2	2	2	1.0	1
	臨床福祉学専攻	博士	一般	2	0	-	-	-	-
	博士課程計			4	2	2	2	1.0	1
	看護学専攻	修士	一般	15	2	2	1	2.0	1
			社会人		13	13	9	1.4	9
	専攻計			15	15	15	10	1.5	10
	臨床福祉学専攻	修士	一般	5	1	1	0	0	0
社会人			2		2	1	2.0	1	
専攻計			5	3	3	1	3.0	1	
看護福祉学研究科合計			24	20	20	13	1.5	12	

心理科学研究科	臨床心理学専攻	博士	一般	2	1	1	0	0	-
	博士課程計			2	1	1	0	0	0
	臨床心理学専攻	修士	学内推薦	20	11	11	8	1.4	8
			一般		11	11	6	1.8	6
			社会人		0	-	-	-	-
			専攻計		20	22	22	14	1.6
心理科学研究科合計			22	23	23	14	1.6	14	
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	博士	一般	2	1	1	1	1.0	1
			特別(外国人)	若干名	1	1	1	1.0	1
	博士課程計			2	2	2	2	1.0	2
	リハビリテーション科学専攻	修士	一般	5	3	3	3	1.0	3
			社会人		5	5	5	1.0	5
			専攻計		5	8	8	8	1.0
リハビリテーション科学研究科合計			7	10	10	10	1.0	10	
大 学 院 計			77	67	67	50	1.3	49	

(2) 修了生・卒業生数 (2020年3月31日現在)

学校名	研究科・学部等	修了・卒業生数		備考
		2019年度	累計	
北海道医療大学	薬学研究科修士課程	-	493	
	博士課程	1	66	論文博士(内31名)
	歯学研究科博士課程	14	334	論文博士(内82名)
	看護福祉学研究科修士課程	12	468	
	博士課程	2	30	論文博士(内2名)
	心理科学研究科修士課程	12	179	
	博士課程	2	21	論文博士(内2名)
	リハビリテーション研究科修士課程	3	21	
	博士課程	-	1	
	大学院計	46	1,613	
薬学部	薬学部	116	6,045	
	歯学部	55	3,315	
	看護福祉学部	153	4,988	
	心理科学部	48	1,709	
	リハビリテーション科学部	163	542	
	学部計	535	16,599	
歯学部附属歯科衛生士専門学校		31	1,588	
総 計		612	19,800	

(3) 国家試験

(%)

種別	区分	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
薬剤師	新卒	92.9	83.7	93.7	90.6	90.5
	総数	82.2	69.2	77.3	74.2	76.6
	全国平均	76.9	71.6	70.6	70.9	69.6
歯科医師	新卒	49.0	71.7	81.6	82.4	82.8
	総数	42.9	55.2	61.3	61.3	62.5
	全国平均	63.6	65.0	64.5	63.7	65.6
看護師	新卒	98.3	98.1	96.2	97.4	94.7
	総数	98.3	97.1	96.3	94.9	94.1
	全国平均	89.4	88.5	91.0	89.3	89.2
保健師	新卒	94.7	100.0	85.7	100.0	92.9
	総数	87.0	94.7	86.7	93.8	93.3
	全国平均	89.8	90.8	81.4	81.8	91.5
社会福祉士	新卒	48.5	47.8	52.7	68.0	67.6
	総数	28.3	28.9	29.3	30.4	30.9
	全国平均	26.2	25.8	30.2	29.9	29.3
精神保健福祉士	新卒	78.3	85.7	72.7	68.8	92.9
	総数	47.7	64.3	39.1	51.6	60.0
	全国平均	61.6	62.0	62.9	62.7	62.1
介護福祉士	新卒	-	-	100.0	100.0	100.0
	総数	-	-	100.0	100.0	100.0
	全国平均	-	-	70.8	73.7	69.9
言語聴覚士	新卒	94.7	100.0	95.0	88.5	87.8
	総数	81.8	90.3	90.0	77.6	72.1
	全国平均	67.6	75.9	79.3	68.9	65.4
公認心理師	新卒	-	-	-	88.9	70.0
	総数	-	-	-	88.9	72.7
	全国平均	-	-	-	79.1	46.4
理学療法士	新卒	-	100.0	97.2	100.0	100.0
	総数	-	100.0	97.2	100.0	100.0
	全国平均	-	90.3	81.4	85.8	86.4
作業療法士	新卒	-	100.0	92.3	93.8	100.0
	総数	-	100.0	92.3	91.4	100.0
	全国平均	-	83.7	77.6	71.3	87.3
歯科衛生士	新卒	100.0	93.0	100.0	100.0	100.0
	総数	100.0	93.0	100.0	100.0	100.0
	全国平均	96.0	93.3	96.1	96.2	94.3

(4) 進路状況

①求人件数

(社)

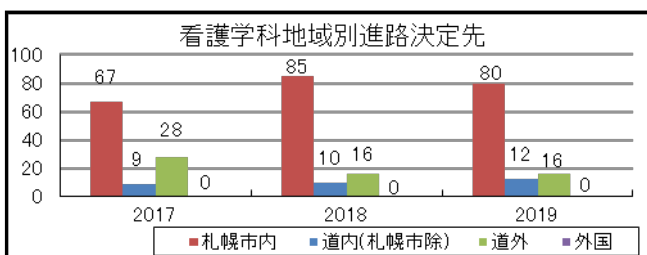
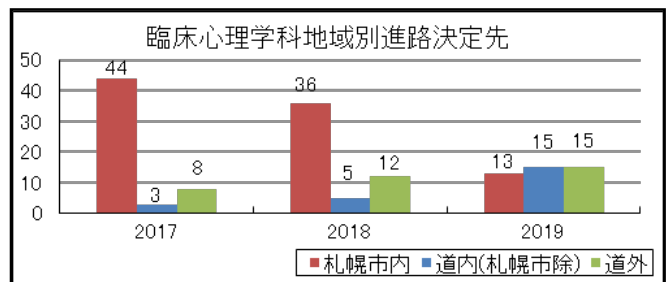
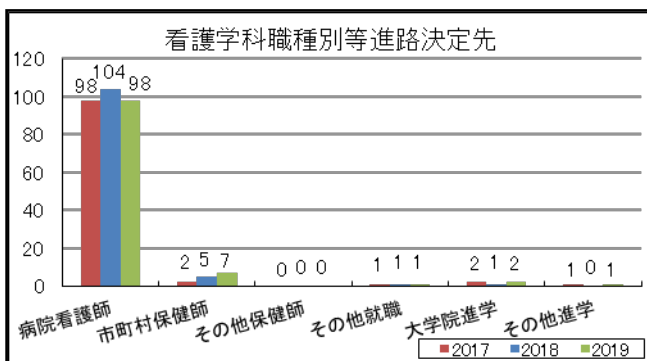
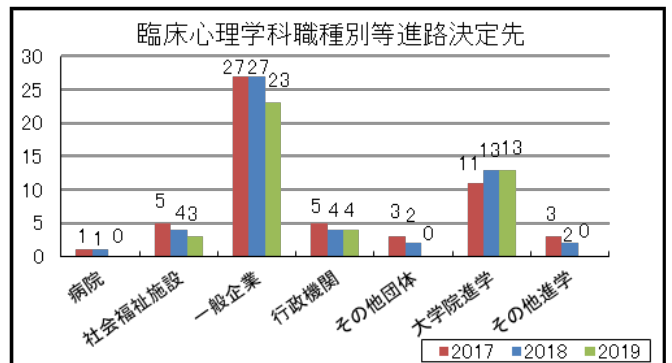
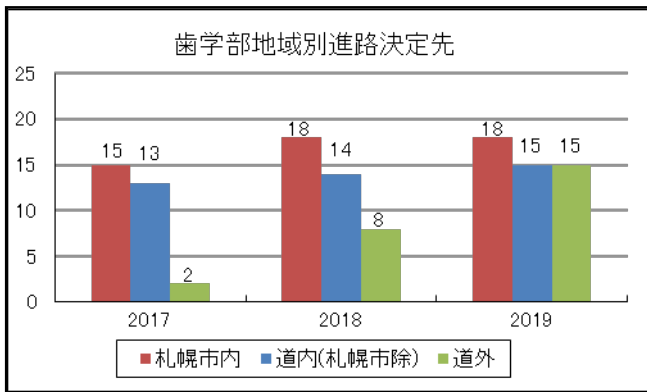
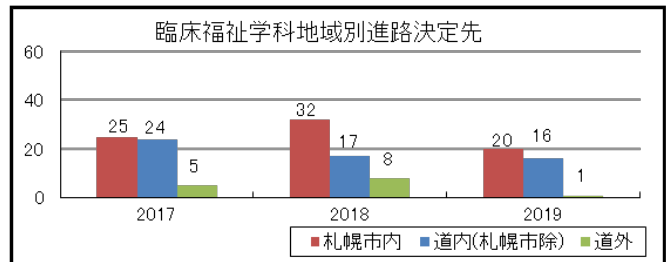
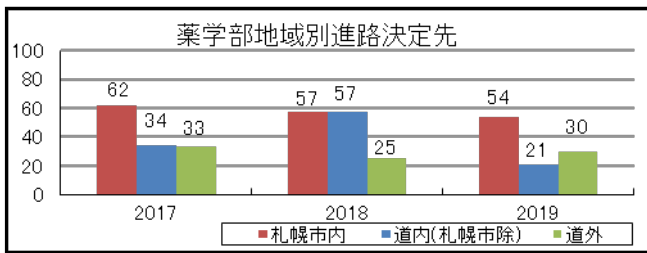
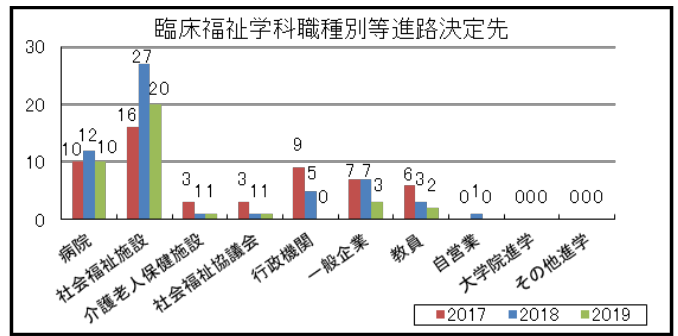
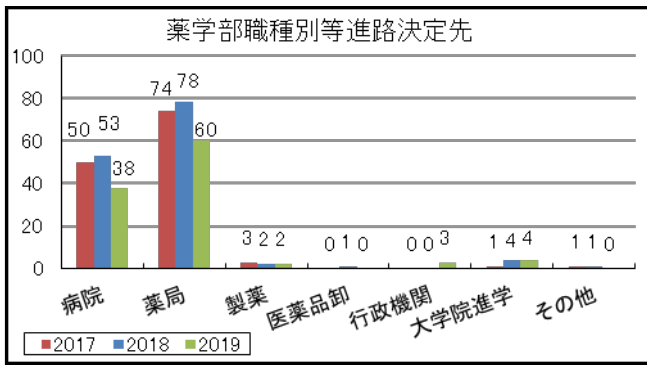
求人先	2017年度	2018年度	2019年度
病院	1,428	1,075	972
診療所	982	790	910
社会福祉施設	278	301	262
介護老人保健施設	75	79	63
社会福祉協議会	36	25	32
公務員 (行政機関)	320	222	198
一般企業	438	321	247
教育機関	36	21	25
その他	15	26	32
合計	3,608	2,860	2,741

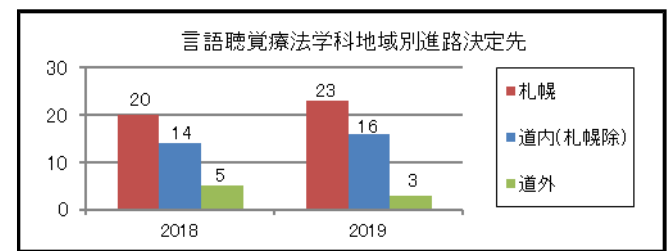
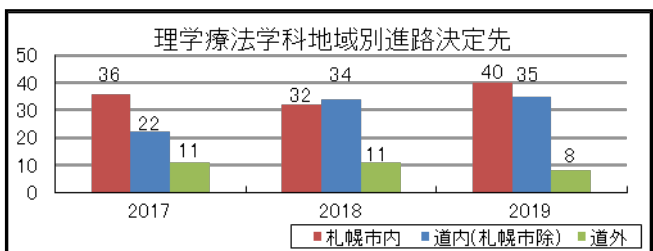
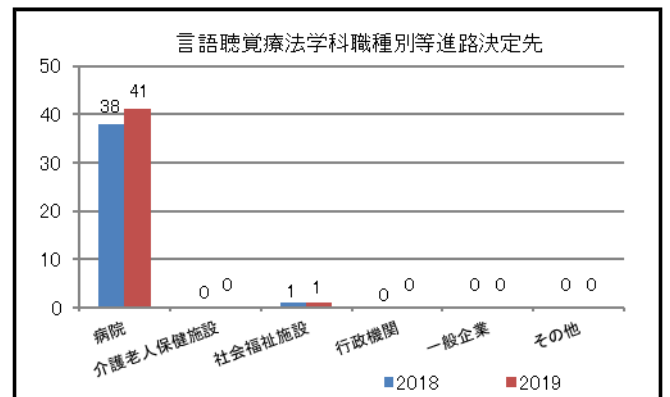
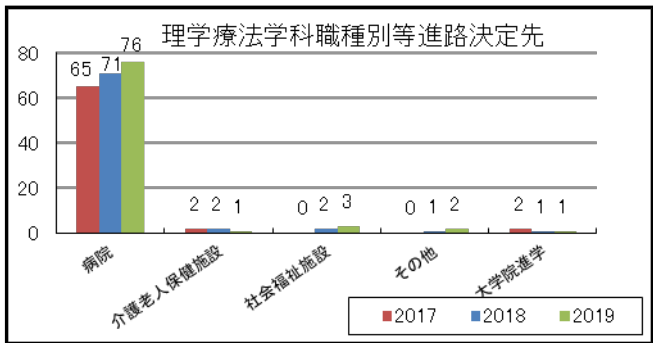
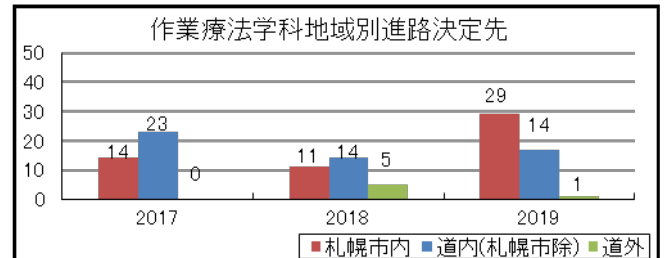
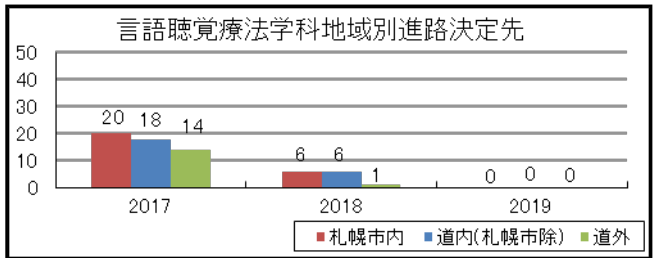
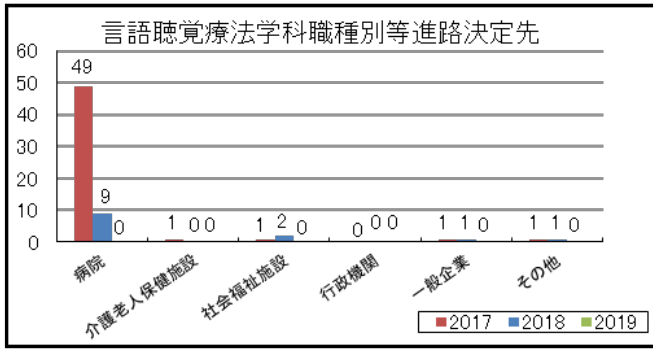
②求人数

(人)

求人先	2017年度	2018年度	2019年度
歯科医師	920	1,178	1,053
歯科衛生士	713	775	851
薬剤師	5,496	4,447	4,807
MR・研究・開発	413	282	103
看護師	12,960	10,178	9,843
保健師	351	385	307
福祉施設相談員等	689	735	515
MSW (医療ソーシャルワーカー)	111	161	202
PSW (精神保健福祉士)	78	150	98
介護職員	1,610	1,564	900
心理職	108	176	147
言語聴覚士	1,267	1,796	1,155
理学療法士	2,323	3,025	3,232
作業療法士	1,933	2,934	2,660
その他	4,101	5,071	7,299
合計	33,073	32,857	33,172

③進路状況





(5) 学納金

2019年度の学納金は、次のとおりです。2012年度学部入学生から初年度納入額の引き下げを行い、学費負担者の経済的負担の軽減を図るとともに、各年度の納入額の均等化を行いました。

① 大学（2019年度入学生対象）

（単位：円）

学 部 名	入学金	授業料	初年度 納入金	2年次以 降授業料	卒業迄の 納入金	他大学平均 (卒業迄)
薬学部（6年制）	300,000	1,600,000	1,900,000	1,900,000	11,400,000	12,006,393
歯学部	300,000	3,800,000	4,100,000	4,100,000	24,600,000	27,075,000
看護福祉学部 看護学科	300,000	1,200,000	1,500,000	1,500,000	6,000,000	6,401,387
看護福祉学部 臨床福祉学科	300,000	900,000	1,200,000	1,200,000	4,800,000	4,390,635
心理科学部 臨床心理学科	300,000	900,000	1,200,000	1,200,000	4,800,000	4,544,815
リハビリテーション科学部 理学療法学科	300,000	1,075,000	1,375,000	1,375,000	5,500,000	6,377,884
リハビリテーション科学部 作業療法学科	300,000	1,075,000	1,375,000	1,375,000	5,500,000	6,329,587
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	300,000	1,075,000	1,375,000	1,375,000	5,500,000	6,090,360
医療技術学部 臨床検査学科	300,000	1,150,000	1,415,000	1,450,000	5,800,000	6,285,308

他大学平均(卒業迄)は本学調査による。

② 大学院（2019年度入学生対象）

（単位：円）

研 究 科 名		入学金	授業料	初年度 納入金	修了迄の 納入金	他大学平均 (修了迄)
薬学研究科（修士課程）	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,575,333
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,754,762
薬学研究科（博士課程）	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	3,000,000	3,023,152
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	3,200,000	3,293,022
歯学研究科（博士課程）	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	3,000,000	2,832,632
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	3,200,000	3,137,895
看護福祉学研究科 （修士課程） 【看護学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,905,947
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	2,080,880
看護福祉学研究科 （修士課程） 【臨床福祉学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,501,684
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,681,215
看護福祉学研究科 （博士課程） 【看護学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,654,552
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,850,414
看護福祉学研究科 （博士課程） 【臨床福祉学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,070,915
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,299,064

心理科学研究科 (修士課程) 【臨床心理学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,629,675
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,786,940
心理科学研究科 (博士課程) 【臨床心理学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,192,286
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,451,929
リハビリテーション科学研究科 (修士課程) 【リハビリテーション科学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,692,742
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,879,355
リハビリテーション科学研究科 (博士課程) 【リハビリテーション科学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,604,600
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,776,600

※他大学平均(修了迄) : 本学調査による

(6) 奨学金

(2019 年度実績)

	本学奨学金(一般奨学生)		日本学生支援機構	
	採用者数	金額(千円)	第一種採用者数	第二種採用者数
薬学部	40	20,000	184	287
歯学部	25	12,293	34	54
看護福祉学部	23	11,168	155	217
心理科学部	16	7,502	51	89
リハビリテーション科学部	25	12,210	198	286
医療技術学部	1	500	15	28
小計	130	63,673	637	961
大学院薬学研究科	1	800	1	1
大学院歯学研究科	6	4,800	1	2
大学院看護福祉学研究科	1	800	1	2
大学院心理科学研究科	0	0	11	1
リハビリテーション科学研究科	1	600	0	0
小計	9	7,000	14	6
合計	139	70,673	651	967
歯学部附属歯科衛生士専門学校	1	330	16	30
総計	140	71,003	667	997

(7) 蔵書統計 (全学総合)

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
図書所蔵数	和	164,031	165,009	165,009	165,316	166,014	(冊)
	洋	77,741	77,907	77,907	77,925	77,907	
	合計	241,772	242,916	242,916	243,241	243,921	
学術雑誌 所蔵タイトル 数	和	1,209	1,209	1,209	1,205	1,204	(種)
	洋	1,199	1,197	1,197	1,196	1,195	
	合計	2,408	2,406	2,406	2,401	2,399	
視聴覚資料 所蔵数	和	5,578	5,574	5,574	5,575	5,584	(点)
	洋	1,028	1,030	1,030	1,030	1,021	
	合計	6,606	6,604	6,604	6,605	6,605	
資料購入費	図書	10,567	6,532	6,532	5,256	6,317	(千円)
	雑誌	4,602	0	0	0	0	
	視聴覚資料	583	25	25	324	308	
	合計	15,752	6,557	6,557	5,580	6,625	

(8) 科学研究費補助金

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
新規	申請件数	139	150	144	139	168
	採択件数	24	31	23	32	43
	採択率	17.3	20.7	16.0	23.0	25.6
	交付額(千円)	37,100	53,560	35,360	52,180	74,600
新規・継続	申請件数	207	217	208	197	214
	採択件数	92	98	87	92	102
	採択率	44.4	46.0	41.8	46.7	47.7
	交付額(千円)	141,700	150,670	131,320	147,342	158,990
	順位	152/1,294	144/1,291	159/1,300	159/1,300	142/1,300

* 交付額は間接経費を含む

* 2013年度までの順位は交付決定時の採択件ベース(本学/交付私立大学)、2014年度からは文部科学省の提供データ形式が変わり私大だけの順位が算出できなくなったため研究機関の順位に変更

(間接経費)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
新規	件数	24	31	23	32	43
	金額(千円)	11,130	12,360	8,160	15,654	22,110
新規・継続	件数	92	98	87	92	102
	金額(千円)	32,700	34,770	29,820	30,942	36,690

* 転出・転入・廃止に係る譲渡や返還は反映

* 分担金に伴う他研究機関への譲渡は反映せず

(9) 私立大学等経常費補助金

(本学の推移)

(単位：千円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
一般補助	737,095	716,483	840,534	801,278	709,706
特別補助	69,764	44,667	69,085	58,819	56,248
計	806,859	761,150	909,619	860,097	765,954
順位(本学/交付全大学)	73/566	83/570	69/573	74/571	85/576

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。

2015年度から2019年度の主な事業として、2015年度に歯学部棟2,3階および歯科クリニック棟2～5階の改修工事、地域包括ケアセンター新築工事、2016年度に薬学部棟2階保健センター改修工事、2017年度に当別キャンパス照明器具LED化改修工事、総合図書館エレベータ改修工事、2018年度に新学部設置改修工事、心理科学部棟及び大学病院のエレベータ改修工事、2019年度には医療技術学部棟第2期改修工事及び当別キャンパス電気設備更新工事を行いました。

収入面では、学生生徒等納付金収入は2007年度に学納金改定（入学金を引き下げ、第2学年以降の授業料に付加する改定を行いました。2013年度にリハビリテーション科学部を開設、2014年度には歯学部新入生から教育充実費の廃止、2019年度には医療技術学部を開設しました。補助金収入は2015年度に学内講義室等マルチメディア教育システム設置工事における私立学校施設整備費補助金、2016年度に遺伝子改変動物用飼育装置における私立学校施設整備費補助金、2015・2017年度には私立大学等改革総合支援事業に採択され、補助金の交付を受けました。一方、支出面では、2009年度よりポイント制人件費管理システムを導入し、人事管理を定数管理型から人件費管理型への改革を図り、人件費を削減してきております。教育研究経費支出は教育研究費の質的向上を維持しながらも、支出の抑制に努めております。

(単位：千円)

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	6,369,174	6,485,925	6,279,723	6,201,751	6,230,353
手数料収入	100,134	96,444	88,541	91,731	91,165
寄付金収入	56,947	56,363	190,179	81,896	26,085
補助金収入	962,384	808,765	958,048	909,225	808,223
資産売却収入	105,613	63,483	39,126	31,057	24,612
付随事業・収益事業収入	1,241,439	1,205,180	1,199,168	1,263,196	1,385,166
受取利息・配当金収入	49,383	42,204	43,735	69,742	63,886
雑収入	268,105	265,762	284,004	351,913	265,578
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	733,518	681,453	637,459	788,669	741,108
その他の収入	724,028	544,189	459,151	449,987	546,564
資金収入調整勘定	△1,252,006	△1,132,492	△1,039,519	△1,069,605	△1,116,326
当年度資金収入合計	9,358,719	9,117,276	9,139,615	9,169,562	9,114,244
前年度繰越支払資金	7,077,697	6,214,133	6,516,257	6,759,229	7,363,894
収入の部合計	16,436,416	15,331,409	15,655,872	15,928,791	16,478,138
人件費支出	5,053,096	5,140,598	5,259,529	5,242,964	5,343,392
教育研究経費支出	2,324,659	2,353,340	2,344,047	2,306,236	2,373,873
管理経費支出	486,565	489,429	528,718	538,476	449,653
借入金等利息支出	5,225	4,997	2,942	2,563	2,194
借入金等返済支出	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
施設関係支出	813,030	178,500	121,749	377,752	191,356
設備関係支出	600,169	480,933	290,309	266,550	220,521
資産運用支出	0	5,000	0	0	0
その他の支出	1,447,184	707,021	749,252	577,308	932,683
資金支出調整勘定	△607,645	△644,666	△499,903	△846,952	△467,581
当年度資金支出合計	10,222,283	8,815,152	8,896,643	8,564,897	9,146,091
翌年度繰越支払資金	6,214,133	6,516,257	6,759,229	7,363,894	7,332,047
支出の部合計	16,436,416	15,331,409	15,655,872	15,928,791	16,478,138

注：1) 資金収入調整勘定は期末未収入金（学納金や事業収入等の未収額）・前期末前受金（新入生の入学時納入金等）、資金支出調整勘定は期末未払金（経費・購入代金の未払額）・前期末前払金（購入代金の前払額）です。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的収支（「教育活動収支」と「教育活動外収支」）及び臨時的収支（「特別収支」）を区分して、それぞれの収支状況が把握できるように作成されています。また、毎期の収支状況を把握できるように現行の基本金組入額後の収支差額に加えて、基本金組入前の収支差額が表示されています。

基本金組入前収支差額は、「経常収支差額」と「特別収支差額」の差額ですが、2015年度まではプラスで推移しておりましたが、2016年度から4年連続でマイナスとなりました。一方、基本金組入後の当年度収支差額は、2011年度は収入超過となりましたが、2013年度以降は基本金組入額の増大により7年連続支出超過となりました。

(単位：千円)

		科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	収入の部 事業活動	学生生徒等納付金	6,369,174	6,485,925	6,279,723	6,201,751	6,230,353
		手数料	100,134	96,444	88,541	91,731	91,165
		寄付金	61,487	60,427	195,172	85,648	80,832
		経常費等補助金	862,753	805,165	952,950	908,172	804,415
		付随事業収入	1,241,439	1,205,180	1,199,167	1,263,196	1,385,166
		雑収入	268,089	265,754	283,274	351,829	265,566
		教育活動収入計	8,903,076	8,918,895	8,998,827	8,902,327	8,857,497
	支出の部 事業活動	人件費	4,995,045	5,189,058	5,268,160	5,285,784	5,332,599
		教育研究経費	3,261,455	3,322,846	3,237,739	3,178,161	3,271,829
		管理経費	581,509	590,889	624,740	616,587	513,236
徴収不能額等		31,485	27,126	19,021	18,495	5,335	
	教育活動支出計	8,869,494	9,129,919	9,149,660	9,099,027	9,122,999	
		教育活動収支差額	33,582	△211,024	△150,833	△196,700	△265,502
教育活動外収支	収入の部 事業活動	受取利息・配当金	49,383	42,204	43,735	69,742	63,886
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	49,383	42,204	43,735	69,742	63,886
	支出の部 事業活動	借入金等利息	5,225	4,997	2,942	2,563	2,194
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	5,225	4,997	2,942	2,563	2,194
		教育活動外収支差額	44,158	37,207	40,793	67,179	61,692
		経常収支差額	77,740	△173,817	△110,040	△129,521	△203,810
特別収支	収入の部 事業活動	資産売却差額	105,434	63,483	39,126	31,146	24,630
		その他の特別収入	111,971	21,878	23,232	27,001	26,958
		特別収入計	217,405	85,361	62,358	58,147	51,588
	支出の部 事業活動	資産処分差額	17,919	15,939	8,214	6,896	6,933
		その他の特別支出	909	1,327	677	1,977	241
		特別支出計	18,828	17,266	8,891	8,873	7,174
		特別収支差額	198,577	68,095	53,467	49,274	44,414
		基本金組入前当年度収支差額	276,317	△105,722	△56,573	△80,247	△159,396
		基本金組入額合計	△1,415,394	△620,218	△312,605	△406,010	△716,048
		当年度収支差額	△1,139,077	△725,940	△369,178	△486,257	△875,444
		前年度繰越収支差額	△12,591,257	△13,730,335	△14,456,275	△14,643,728	△15,122,632
		基本金取崩額	0	0	181,725	7,353	525
		翌年度繰越収支差額	△13,730,334	△14,456,275	△14,643,728	△15,122,632	△15,997,551

(参考)

事業活動収入計	9,169,864	9,046,460	9,104,920	9,030,216	8,972,971
事業活動支出計	8,893,547	9,152,182	9,161,493	9,110,463	9,132,367

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、資産、負債、純資産の状況を前年度末の額と対比して示します。財務状況や経営分析に使用する重要なものです。

資産の部合計では有形固定資産（建物及び構築物）が減ったことにより、減少しております。また、固定負債は退職給与引当金と長期借入金であり、流動負債は主に前受金、未払金および預り金です。

（単位：千円）

科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
固定資産	27,632,063	27,242,902	26,683,769	26,392,853	25,859,660
有形固定資産	19,976,146	19,564,671	19,001,188	18,719,831	18,184,626
特定資産	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000
その他の固定資産	555,917	578,231	582,581	573,022	575,034
流動資産	6,786,555	6,968,500	7,168,713	7,836,410	7,705,223
資産の部合計（a）	34,418,618	34,211,402	33,852,482	34,229,263	33,564,883
固定負債	2,610,115	2,534,040	2,442,671	2,385,491	2,274,698
流動負債	1,511,338	1,485,919	1,274,941	1,789,149	1,394,958
負債の部合計（b）	4,121,453	4,019,959	3,717,612	4,174,640	3,669,656
基本金	44,027,500	44,647,718	44,778,598	45,177,256	45,892,778
繰越収支差額	△13,730,335	△14,456,275	△14,643,728	△15,122,633	△15,997,551
純資産の部合計	30,297,165	30,191,443	30,134,870	30,054,623	29,895,227
負債・純資産の部合計	34,418,618	34,211,402	33,852,482	34,229,263	33,564,883
正味資産（a - b）	30,297,165	30,191,443	30,134,870	30,054,623	29,895,227

2. 2019年度決算の概要

(1) 資金収支計算書

収入に関しては、学生生徒等納付金収入が予算比4,240万円増、手数料収入が予算比765万円減、寄付金収入が予算比2,608万円減、補助金収入が予算比1億56万円減、資産売却収入が予算比1,539万円減、付随事業・収益事業収入が予算比9,249万円減、受取利息・配当金収入が予算比2,386万円増、雑収入が予算比2,460万円増となりました。収入の計は予算比1億8,313万円増の91億1,424万円となりました。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比6,392万円減、教育研究経費支出が予算比1億345万円減、管理経費支出が予算比2,155万円減となりました。施設設備関係支出については、医療技術学部棟の第2期改修工事、当別キャンパス電気設備更新工事等を行いました。支出の計は予算比1億5,989万円減の91億4,609万円となり、翌年度繰越支払資金は予算比3億4,302万円増の73億3,205万円となりました。

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予算	決算	差異	科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	6,187,950	6,230,353	△42,403	人件費	5,407,314	5,343,392	63,922
手数料収入	98,816	91,165	7,651	教育研究経費支出	2,477,323	2,373,873	103,450
寄付金収入	100,000	73,915	26,085	管理経費支出	471,207	449,653	21,554
補助金収入	908,781	808,223	100,558	借入金等利息支出	2,200	2,194	6
資産売却収入	40,000	24,612	15,388	借入金等返済支出	100,000	100,000	0
付随事業・収益事業収入	1,477,657	1,385,166	92,491	施設関係支出	201,234	191,356	9,878
受取利息・配当金収入	40,030	63,886	△23,856	設備関係支出	318,117	220,521	97,596
雑収入	240,980	265,578	△24,598	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	943,257	932,683	10,574
前受金収入	712,211	741,108	△28,897	予備費	30,000		30,000
その他の収入	512,246	546,564	△34,318				
資金収入調整勘定	△1,387,553	△1,116,326	△271,227	資金支出調整勘定	△644,666	△467,581	△177,085
計（当年度収入）	8,931,118	9,114,244	△183,126	計（当年度支出）	9,305,986	9,146,091	159,895
前年度繰越支払資金	7,363,894	7,363,894	0	翌年度繰越支払資金	6,989,026	7,332,047	△343,021
収入の部合計	16,295,012	16,478,138	△183,126	支出の部合計	16,295,012	16,478,138	△183,126

(2) 事業活動収支計算書

教育活動収支の事業活動収入の部は学生生徒等納付金、手数料、寄付金（現物寄付含む）、経常費等補助金（施設設備補助金除く）、付随事業収入及び雑収入の合計であり、予算比1億5,669万円減の88億5,750万円となりました。事業活動支出の部は人件費、教育研究経費、管理経費及び徴収不能額等の合計であり、予算比1億9,908万円減の91億2,300万円となりました。これにより教育活動収支差額は2億6,550万円のマイナスとなりました。

教育活動外収支の事業活動収入の部は受取利息・配当金が予算比2,386万円増の6,389万円となり、事業活動支出の部は借入金等利息が219万円となったため、教育活動外収支差額は6,170万円のプラスとなりましたが、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は2億381万円のマイナスとなりました。

特別収支の事業活動収入の部では資産売却差額、その他の特別収入（現物寄付、過年度修正額）の合計であり、予算比9,841万円減の5,159万円となりました。事業活動支出の部では資産処分差額、その他の特別支出（過年度修正額）の合計であり、予算比783万円減の717万円となり、特別収支差額は

4,442万円のプラスとなりました。

その結果、事業活動収入は予算比2億3,124万円減の89億7,297万円、事業活動支出は予算比2億3,691万円減の91億3,237万円となり、基本金組入前当年度収支差額は予算比566万円減の1億5,940万円のマイナスとなりました。また、基本金組入額は予算比1億4,121万円増の7億1,605万円となり、それにより当年度収支差額は8億7,544万円のマイナスとなりました。また、翌年度繰越収支差額は、159億9,755万円となりました。

(単位：千円)

		科 目	予算	決算	差異
教育活動収入	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	6,187,950	6,230,353	△42,403
		手数料	98,816	91,165	7,653
		寄付金	100,000	80,832	19,168
		経常費等補助金	908,781	804,415	104,366
		付随事業収入	1,477,657	1,385,166	92,491
		雑収入	240,980	265,566	△24,586
		教育活動収入計	9,014,184	8,857,497	156,687
	事業活動 支出の部	人件費	5,433,171	5,332,599	100,572
		教育研究経費	3,345,312	3,271,829	73,483
		管理経費	539,394	513,236	26,158
徴収不能額等		4,200	5,335	△1,135	
教育活動支出計	9,322,077	9,122,999	199,078		
教育活動収支差額			△307,893	△265,502	△129,910
教育活動外収入	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	40,030	63,886	△23,856
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	40,030	63,886	△23,856
	事業活動 支出の部	借入金等利息	2,200	2,194	6
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,200	2,194	6
教育活動外収支差額			37,830	61,692	△23,862
経常収支差額			△270,063	△203,810	△66,253
特別収入	事業活動 収入の部	資産売却差額	40,000	24,630	15,370
		その他の特別収入	110,000	26,958	83,042
		特別収入計	150,000	51,588	98,412
	事業活動 支出の部	資産処分差額	15,000	6,933	8,067
		その他の特別支出	0	241	△241
		特別支出計	15,000	7,174	7,826
特別収支差額			135,000	44,414	90,586
予備費			30,000		30,000
基本金組入前当年度収支差額			△165,063	△159,396	△5,667
基本金組入額合計			△574,841	△716,048	141,207
当年度収支差額			△739,904	△875,444	135,540
前年度繰越収支差額			△15,122,632	△15,122,632	0
基本金取崩額			0	525	△525
翌年度繰越収支差額			△15,862,536	△15,997,551	135,015

(参考)

事業活動収入計	9,204,214	8,972,971	231,243
事業活動支出計	9,369,277	9,132,367	236,910

(3) 貸借対照表

総資産 335 億 6,488 万円のうち、固定資産は 258 億 5,966 万円、流動資産は 77 億 522 万円となりました。流動資産のうち現金預金は 73 億 3,205 万円です。

総負債 36 億 6,966 万円のうち、固定負債は 22 億 7,470 万円、流動負債は 13 億 9,496 万円となりました。これらの結果、総資産から総負債を差し引いた正味資産は 298 億 9,523 万円となり、前年対比 1 億 5,940 万円減少しました。

また、減価償却の累計額は、274 億 9,661 万円であり、基本金の当期組入額は 7 億 1,605 万円、当期取崩額は 53 万円で当期増加額は 7 億 1,552 万円となり、基本金合計額は 458 億 9,278 万円となりました。

(資産の部)

(単位：千円)

科 目	2019 年度末	2018 年度末	増 減
固定資産	25,859,660	26,392,853	△290,916
有形固定資産	118,184,626	18,719,831	△281,357
特定資産	7,100,000	7,100,000	0
その他の固定資産	575,034	573,022	△9,559
流動資産	7,705,223	7,836,410	667,697
資産の部合計 (a)	33,564,883	34,229,263	376,781

(負債・純資産の部)

科 目	2019 年度末	2018 年度末	増 減
固定負債	2,274,698	2,385,491	△57,180
長期借入金	400,000	500,000	△100,000
退職給与引当金	1,874,698	1,885,491	42,820
流動負債	1,394,958	1,789,149	514,208
短期借入金	100,000	100,000	0
未払金	462,634	843,837	347,906
前受金	745,208	788,669	151,210
預り金	87,116	56,643	15,092
負債の部合計 (b)	3,669,656	4,174,640	457,028
第 1 号基本金	45,161,778	44,446,255	398,657
第 3 号基本金	100,000	100,000	0
第 4 号基本金	631,000	631,000	0
翌年度繰越収支差額	△15,997,551	△15,122,632	△478,904
負債・純資産の部合計	33,564,883	34,229,263	376,781

正味資産 (a - b)	29,895,227	30,054,623	△80,247
--------------	------------	------------	---------

	2019 年度末	2018 年度末
減価償却額の累計額	27,496,614	26,603,311
基本金未組入額	538,064	890,277

注 記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

…未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

…退職金の支給に備えるため、期末要支給額 2,419,187,300円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

…有価証券の評価方法及び評価基準は移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

…最終仕入原価法である。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

…預り金及び仮払金に係る収入と支出は相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 27,496,614,392円

4. 徴収不能引当金の合計額 3,237,500円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 該当なし

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 538,064,299円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券（施設設備引当特定資産・退職給与引当特定資産・減価償却引当特定資産）の時価情報

①総括表

(単位 円)

	当年度（令和2年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	1,029,296,333	1,061,420,700	32,124,367
（うち満期保有目的の債券）	0	0	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	2,608,271,696	2,457,721,834	△ 150,549,862
（うち満期保有目的の債券）	0	0	0
合 計	3,637,568,029	3,519,142,534	△ 118,425,495
（うち満期保有目的の債券）	0	0	0

②明細表

(単位 円)

種 類	当年度（令和2年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	3,119,195,006	3,097,004,190	△ 22,190,816
株式	304,964,667	230,310,000	△ 74,654,667
投資信託	213,408,356	191,828,344	△ 21,580,012
貸付信託	-	-	-
その他	-	-	-
合 計	3,637,568,029	3,519,142,534	△ 118,425,495
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	3,637,568,029		

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	16,736,220円	10,319,292円
管理用機器備品	34,411,389円	13,221,035円
車 両	12,819,456円	6,390,780円

9. 関連当事者との取引等の状況

(単位:円)

属性	役員法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
					役員の兼任等	事実上の関係				
理事	山田敏章	—	—	弁護士	—	—	顧問料(注1)	1,296,000	—	—
監事	大萱生哲	—	—	弁護士	—	—	顧問料(注1)	1,944,000	—	—

(注1) 取引価格については、第三者との取引価格を参考にしている。

3. 財産目録の概要

I 資産総額	33,564,883,400 円
II 負債総額	3,669,656,750 円
III 正味財産	29,895,226,650 円

2020年3月31日現在

科目	内訳	金額 (円)
一 資産額		33,564,883,400
(一) 基本財産		18,184,626,365
1 土地	当別キャンパス 296,253.28 m ² 札幌あいの里キャンパス 17,831.07 m ² 茨戸教育研修センター 1,155.00 m ² 地域包括ケアセンター 10,745.24 m ² 計 325,984.59 m ²	434,741,846 952,084,555 9,996,000 424,436,980 1,821,259,381
2 建物	当別キャンパス 79,797.13 m ² 札幌あいの里キャンパス 17,514.34 m ² 茨戸教育研修センター 418.33 m ² 地域包括ケアセンター 437.50 m ² 計 98,167.30 m ²	9,324,224,221 2,094,452,162 30,788,839 124,371,629 11,573,836,851
3 構築物		133,136,524
4 図書		2,980,652,683
5 教具・校具・備品	61,233 点	1,674,462,844
6 車両		1,278,082
(二) 運用財産		15,380,257,035
1 現金・預金		7,332,047,380
2 積立金	引当特定資産、学術研究奨励基金	7,100,000,000
3 貯蔵品	医療用薬品、医療材料	27,706,879
4 電話加入権		5,529,579
5 ソフトウェア		11,250,458
6 施設利用権		1,821,600
7 未収入金	医療収入、退職金財団、補助金等	335,189,283
8 長期貸付金	奨学金	556,412,240
9 短期貸付金	学生援助資金	355,000
10 仮払金		5,221,731
11 前払金		4,702,975
12 長期前払金		19,910
二 負債額		3,669,656,750
1 固定負債		2,274,698,161
(1) 長期借入金		400,000,000
(2) 退職給与引当金		1,874,698,161
2 流動負債		1,394,958,589
(1) 短期借入金		100,000,000
(2) 未払金	経常経費	462,634,677
(3) 前受金	学生生徒等納付金、施設設備利用料等	745,208,141
(4) 預り金	税金等	87,115,771

4. 財務比率の推移

(1) 財務比率

①事業活動収支計算書関係比率

事業活動収入で事業活動支出を賅っているかという経営分析指標である事業活動収支差額比率は、-1.8%でした。主な収入および支出の比率は、以下のとおりです。

●収入（対経常収入%）：学生生徒等納付金 69.8%、補助金 9.0%、寄付金 1.2%

●支出（対経常収入%）：人件費 59.8%、教育研究経費 36.7%、管理経費 5.8%

△高い方がよい ▼低い方がよい ～どちらともいえない

分類	比率名	算式	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.0	-1.2	-0.6	-0.9	-1.8
収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	71.1	72.4	69.4	69.1	69.8
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.8	0.7	2.1	1.2	1.2
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.7	0.7	2.2	1.0	0.9
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.4	8.9	10.5	10.1	9.0
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	9.6	9.0	10.5	10.1	9.0
支出構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	55.8	57.9	58.3	58.9	59.8
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	36.4	37.1	35.8	35.4	36.7
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.5	6.6	6.9	6.9	5.8
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	15.4	6.9	-3.4	-4.5	-8.0
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.5	11.7	10.7	10.4	10.5
収支のバランスはとれているか	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.4	80.0	83.9	85.2	85.6
	基本金組入れ後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	114.7	94.7	97.3	96.5	94.3
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	0.9	-1.9	-1.2	-1.4	-2.3
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	0.4	-2.4	-1.7	-2.2	-3.0

②貸借対照表関係比率

△高い方がよい ▼低い方がよい ～どちらともいえない

分類	比率名		算式	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	88.0	88.2	89.0	87.8	89.1
	繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	-39.9	-42.3	-43.3	-44.2	-47.7
	基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.7	97.9	98.4	98.1	98.8
長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	91.2	90.2	88.5	87.8	86.5
	固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	84.0	83.2	81.9	81.4	80.4
資産構成はどうか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	80.3	79.6	78.8	77.1	77.0
	流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	19.7	20.4	21.2	22.9	23.0
	減価償却比率	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	61.6	63.1	64.5	39.6	39.9
負債に備える資産が蓄積されているか	流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	449.0	469.0	562.3	438.0	552.4
	前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	821.8	956.2	1,060.3	933.7	983.9
	退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	56.0	54.5	54.3	53.0	53.3
	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	26.7	28.1	30.0	30.1	32.1
	積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	50.8	50.0	50.0	50.6	49.0
負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	7.6	7.4	7.2	7.0	6.8
	流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	4.4	4.3	3.8	5.2	4.2
	総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	12.0	11.8	11.0	12.2	10.9
	負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	13.6	13.3	12.3	13.9	12.3

(2) その他

①有価証券の状況

種類	数量	B/S 価額	時価	計上科目	摘要
債権	28,000,000 口	3,119,195,006 円	3,097,004,190 円	退職給与引当特定資産	
株式	1,010,000 株	304,964,667 円	230,310,000 円	減価償却引当特定資産	
投資信託	39,925,456	213,408,356 円	191,828,344 円	減価償却引当特定資産	
その他	-	-	-	-	-
計	68,935,456	3,637,568,029 円	3,519,142,534 円		

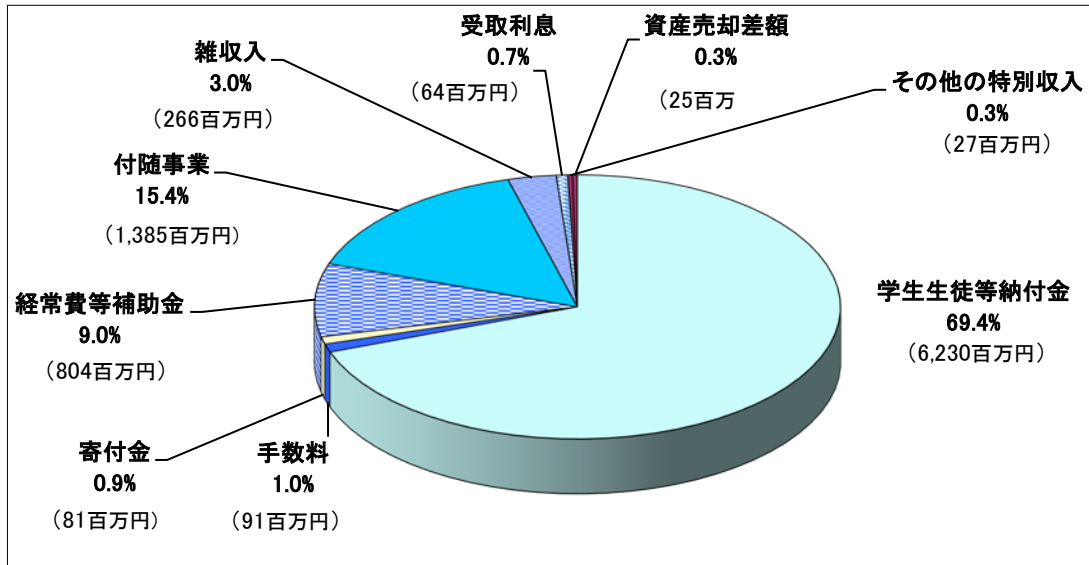
②借入金の状況

借入金	借入残高	返済期限	担保等
北洋銀行	500,000,000 円	2024年12月	なし
合計	500,000,000 円		

参考資料：決算の推移

1. 2019(令和元)年度 事業活動収支の構成比率

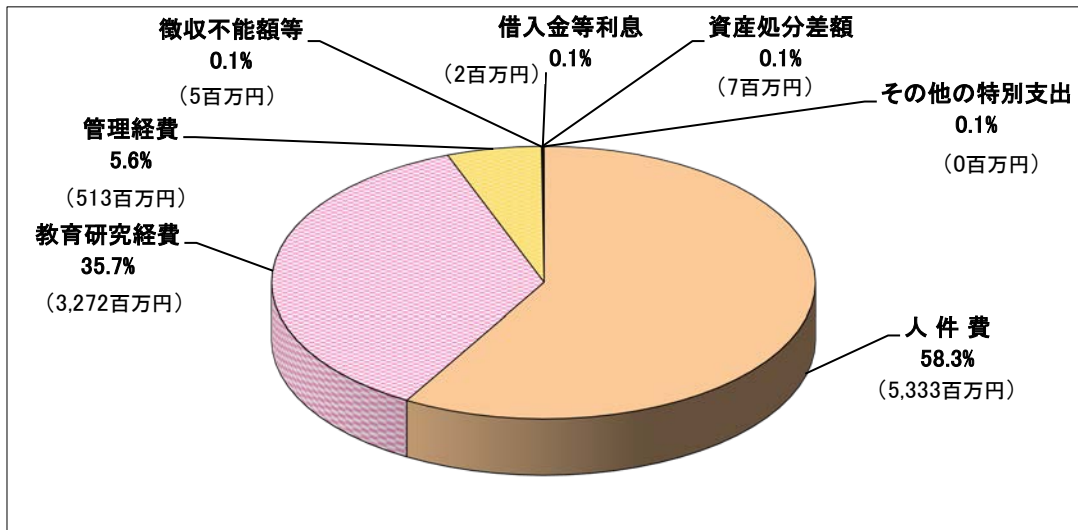
①事業活動収入 8,973百万円



②基本金組入額 716百万円

③基本金取崩額 0.5百万円

④事業活動活動支出 9,132百万円



当年度収支差額 (①-②-④)

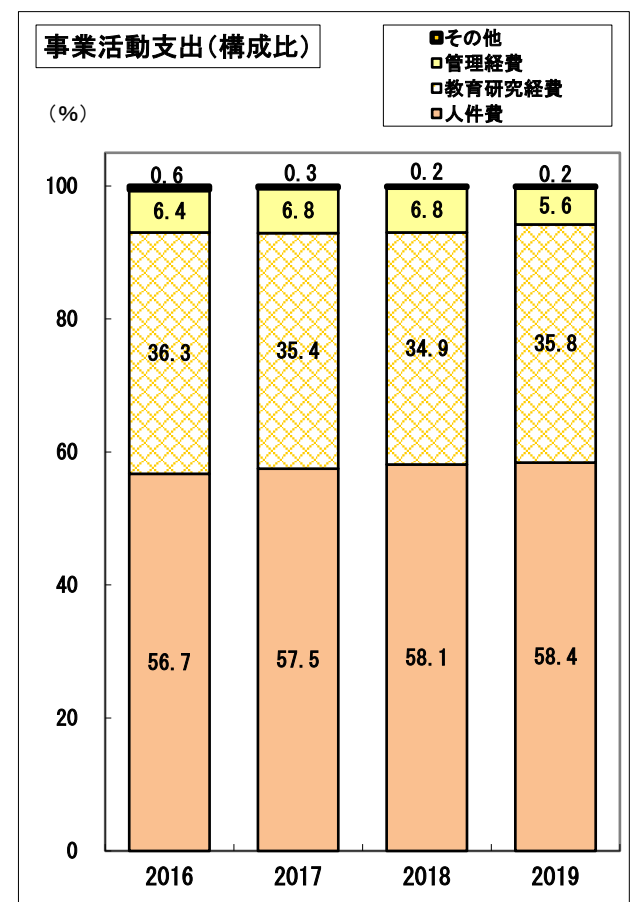
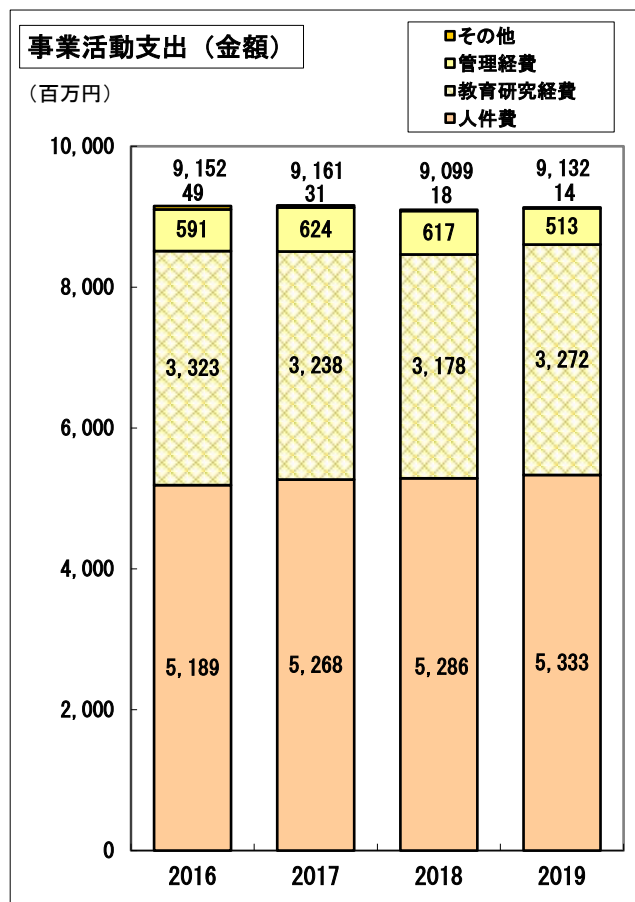
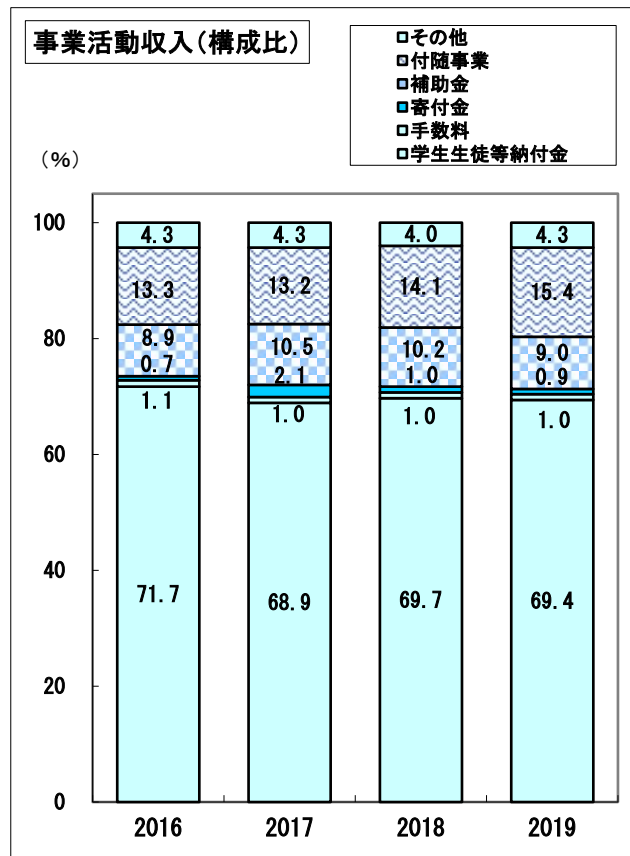
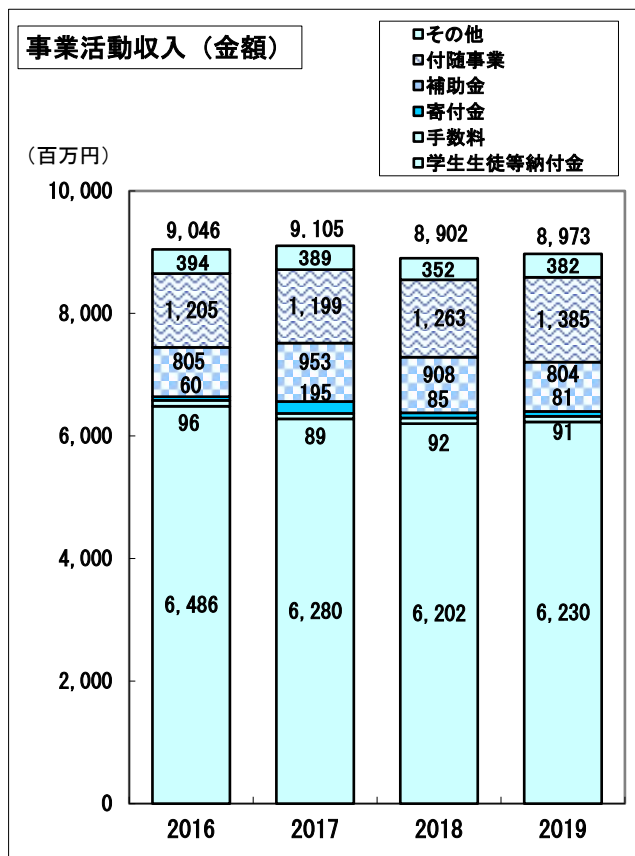
△875百万円

基本金組入前当年度収支差額 (①-④)

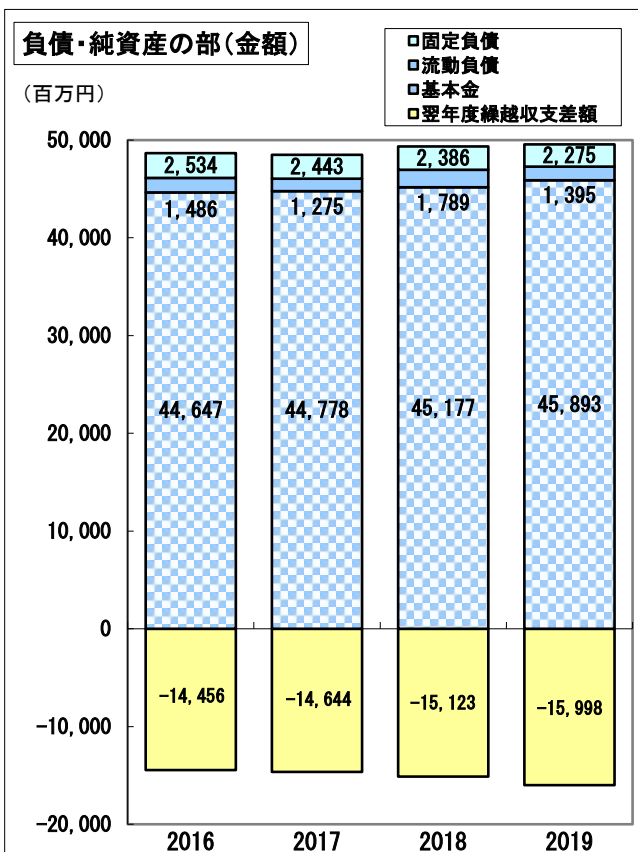
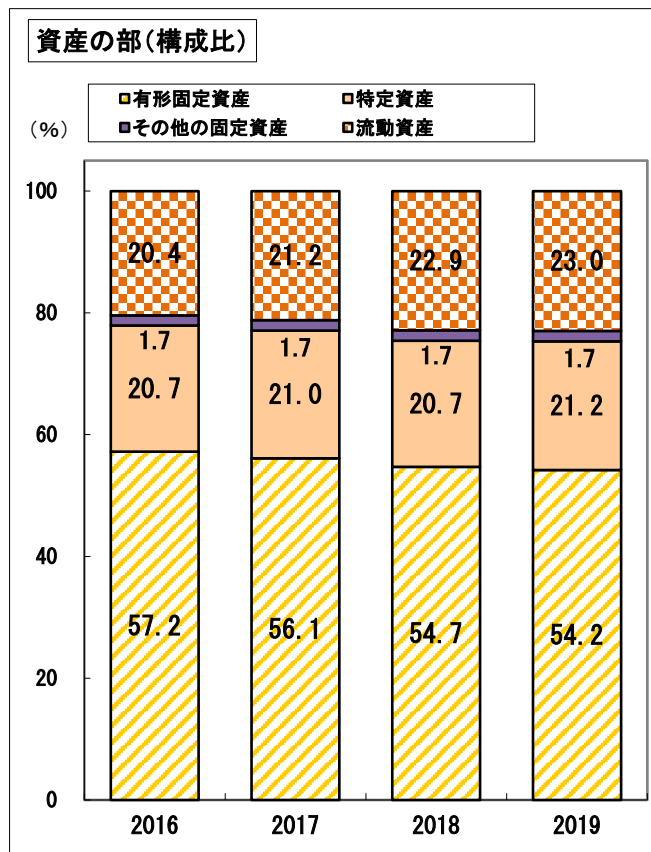
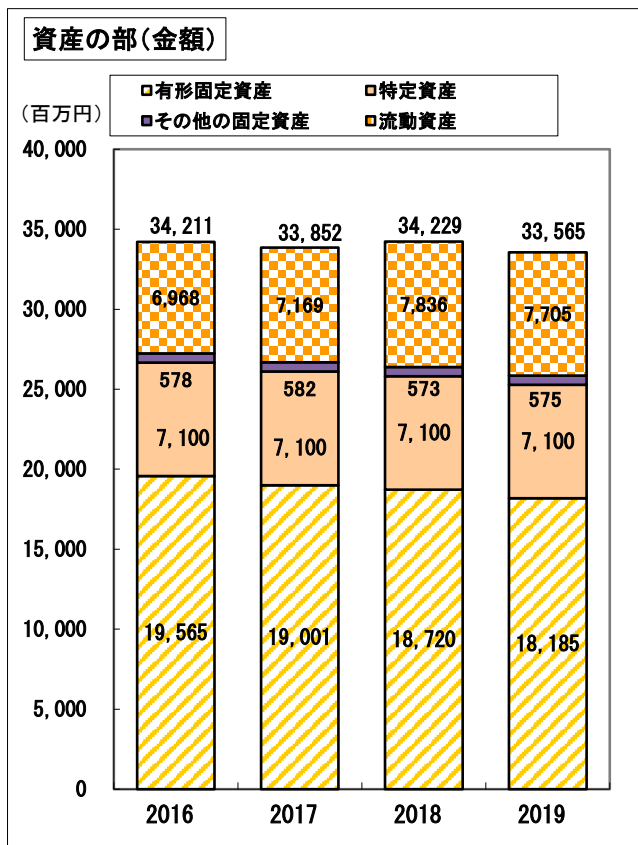
△159百万円

2. 財務状況のグラフ

①事業活動収支計算書

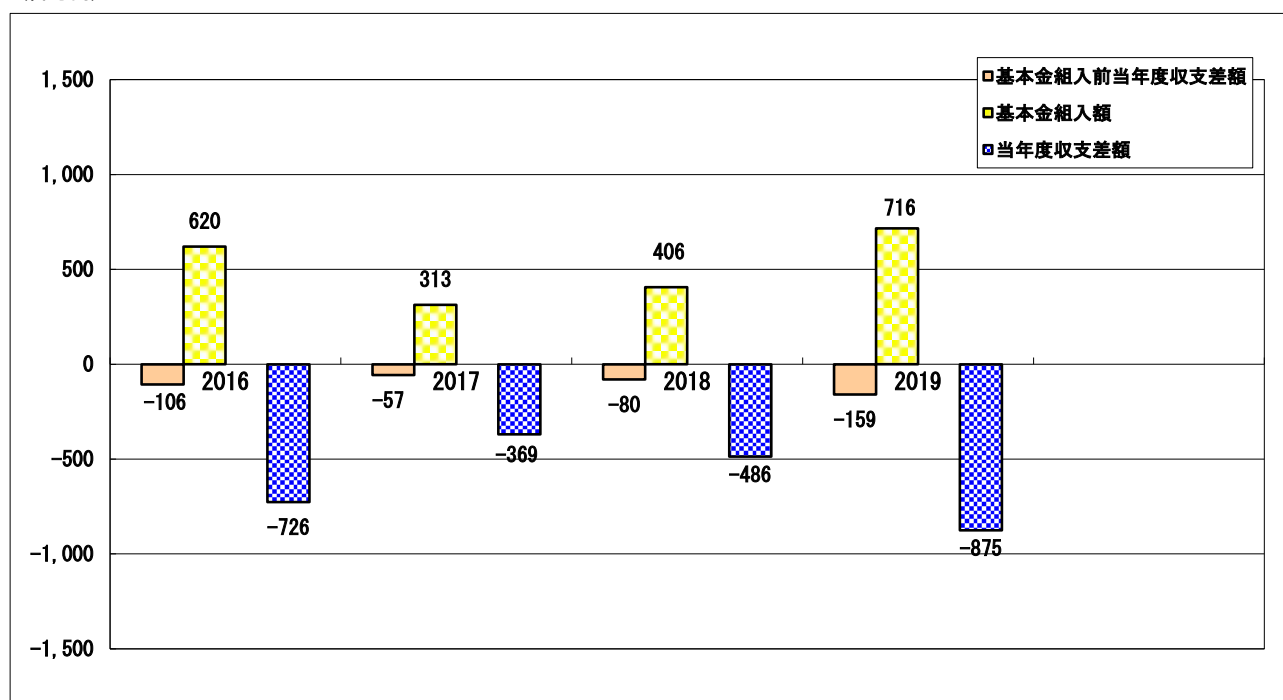


②貸借対照表



③事業活動収支差額

(百万円)



※2015年度より学校法人会計新基準を適用